

# Nano Cortex

Neural DSP® Nano Cortex® ユーザーマニュアル

[[NanOS 1.1.0](#)]

2024

# もくじ

<b>01 Nano Cortex へようこそ</b> .....	<b>4</b>
グローバル機能.....	4
Cortex Cloud.....	5
コンタクト情報 .....	5
<b>02 Overview</b> .....	<b>6</b>
<b>03 クイックスタートガイド</b> .....	<b>7</b>
Nano Cortex の電源を入れる .....	7
Nano Cortex の電源を切る.....	8
楽器を接続する.....	8
グローバルコントロール.....	9
Neural Capture クイックガイド.....	13
Cortex Cloud アプリのペアリング.....	16
I/O クリップングアラート.....	17
<b>04 パフォーマンス・モード</b> .....	<b>18</b>
パフォーマンス・モードへのアクセス .....	18
シグナルパス.....	19
パフォーマンスモードのコントロール.....	19
CAPTURE ライブラリー.....	21
IR ローダー .....	22
エフェクト.....	23
プリセットの切り替えと保存.....	26
Capture Volume モード.....	28
チューナー.....	30
パラメーターの固定 .....	32
<b>05 キャプチャーモード</b> .....	<b>33</b>
Neural Capture とは?.....	33
キャプチャー・モードへのアクセス .....	34

	3
コネクション・ダイアグラム.....	35
Neural Capture キャリブレーション設定 .....	38
キャプチャーのプロセス .....	40
Neural Capture のテストと保存 .....	41
<b>06 Cortex Cloud アプリ.....</b>	<b>44</b>
Cortex Cloud 機能 .....	44
Bluetooth ペアリング .....	45
デバイス画面 .....	46
コンテンツのダウンロード .....	47
プリセットライブラリー .....	51
Neural Capture ライブラリー .....	54
IR Loader ライブラリー .....	57
エフェクトライブラリー .....	58
新しい Neural Capture を作成 (アプリ) .....	60
チューナー (アプリ) .....	63
USB MIDI Out.....	64
MIDI サポート .....	66
エクスプレッション・ペダルの設定 .....	69
ファームウェア・アップデート.....	73
デバイス設定 .....	74
<b>07 コンピューターとの接続.....</b>	<b>76</b>
USB オーディオ設定 .....	76
USB チャンネル .....	78
ホスト モニタリング .....	79
<b>08 ハードウェアの仕様.....</b>	<b>81</b>
既存のコンテンツ.....	82
ファクトリーリセット .....	85
I/O と基本情報 .....	86

# 01 Nano Cortex へようこそ



## グローバル機能

Neural DSP 製ハードウェアの特徴的な機能の 1 つである Neural Capture は、Nano Cortex にも搭載されています。独自の技術で、あらゆる物理的なアンプ、キャビネット、オーバードライブペダルのサウンド特性を、かつてないほどの精度で再現することが可能です。

シグナルチェーンに Neural Capture、IR Loader、エフェクトを追加してプリセットを作成できます。

Cortex Cloud アプリを使うと、より詳細なプリセットのカスタマイズや機能を使用することが可能です。

- Neural Capture
- 64 のプリセットスロット
- 5 つのバンクに区分けられた 25 のキャプチャースロット
- 5 つの IR スロット
- 同時または別々に使用できる 5 つのエフェクトスロット
- MIDI によるコントロールと Bluetooth 接続
- Cortex Cloud アプリによる数千もの Neural Capture へのアクセス

## Cortex Cloud

Cortex Cloud アプリを使用して、ユーザーや Neural Capture を検索できます。

## コンタクト情報

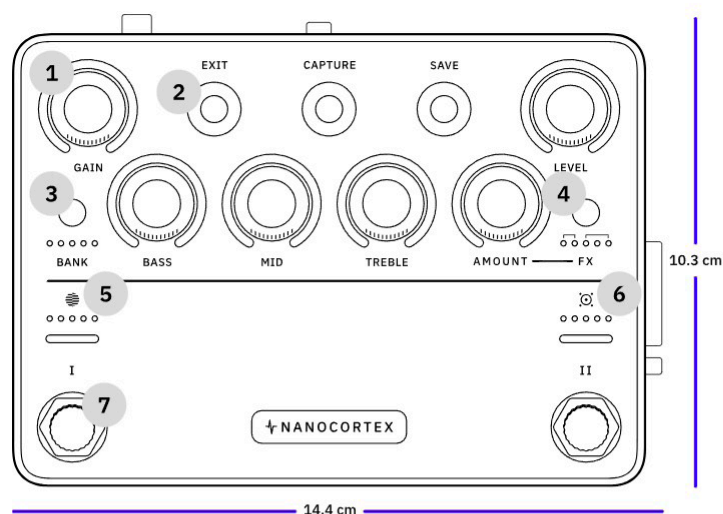
Neural DSP Technologies は登録されているユーザーの皆様に、メールにて無料サポートを提供しております。お問い合わせいただく前に [knowledge base](#) で同じ質問への答えがないかご確認ください。

問題への解決が見つからない場合は以下へお問い合わせください：[support@neuraldsp.com](mailto:support@neuraldsp.com)

質問にお答えいたします。

## 02 Overview

### Top View

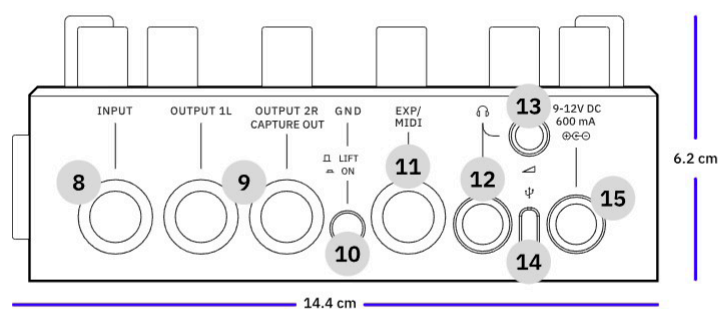


#### Top View Dimensions:

14.4 x 10.3 cm / 5.6 x 4.0"

- 1 6 Analog Knobs
- 2 3 Action Buttons
- 3 Capture Banks
- 4 FX Blocks
- 5 Capture Slots
- 6 IR Loader Slots
- 7 2 Stainless Steel Stomp + Rotary Footswitches

### Rear View

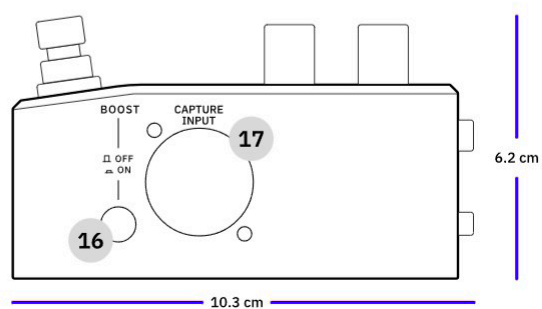


#### Rear View Dimensions:

14.4 x 6.2 cm / 5.6 x 2.4"

- 8 1/4" Instrument Input
- 9 1/4" TRS Outputs
- 10 GROUND LIFT Switch
- 11 1/4" TRS Expression & MIDI Input
- 12 3.5mm TRS HP LEVEL Knob
- 13 Analog HP LEVEL knob
- 14 USB-C Port
- 15 Power Input (9-12V DC 600 mA)

### Side View



#### Side View Dimensions:

10.3 x 6.2 cm / 4.0 x 2.4"

- 16 BOOST Switch
- 17 CAPTURE Input (Combo XLR & TS)

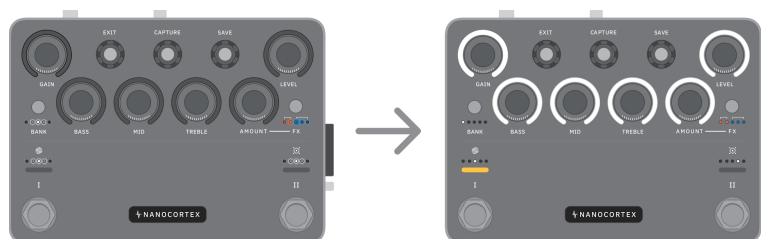
## 03 クイックスタートガイド

### Nano Cortex の電源を入れる

Nano Cortex を電源に接続してください。



数秒後に **BANK**、**CAPTURE**、**FX**、そして **IR** の LED が点灯し、Nano Cortex が起動していることを表します。



起動シーケンスが完了すると、Nano Cortex はパフォーマンスモードに入ります。

### 電源

Nano Cortex は、以下の 2 種類の電源にて駆動させることが可能です：

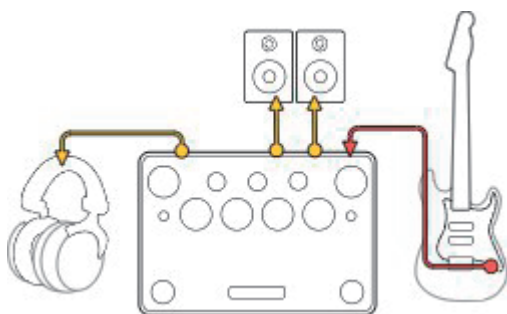
- **外部電源**：Nano Cortex は、DC9-12V 600mA 以上を供給可能な 2.1/5.5mm DC コネクタータイプのセンターマイナス極性のアダプターが必要です。
- **USB-C**: Nano Cortex は USB-C (5V-1.5A または 5V-3A) を使用して電源を供給することも可能です。本体をコンピューターまたは USB-C 対応の電源に USB-C ケーブルを使って接続してください。

## Nano Cortex の電源を切る



Nano Cortex の電源を抜いて電源を切ります。

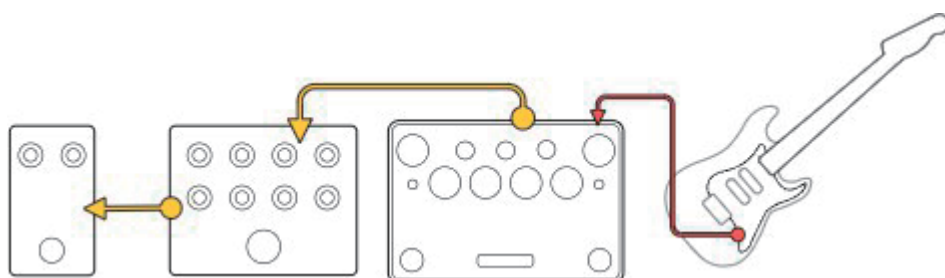
## 楽器を接続する



ギターなどの楽器を **INPUT** に接続してください。

スタジオモニター、PA、FRFR キャビネットなどを **OUTPUT 1L** と **2R** に接続してください。

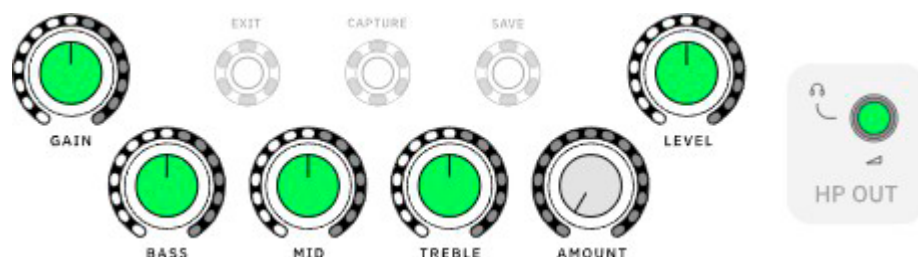
ヘッドフォンを使用する場合は、ヘッドフォンを **HP OUTPUT** に接続してください。



もし Nano Cortex が大きなペダルボードの一部としてセットアップしてある場合は、**INPUT** と **OUTPUT 1L/2R** を使ってオーディオチェーンの必要な場所に設置してください。



## グローバルコントロール



**GAIN**、**BASS**、**MID**、そして **TREBLE** ノブを時計回りまたは反時計回りに回して、Capture パラメーターを調整します。

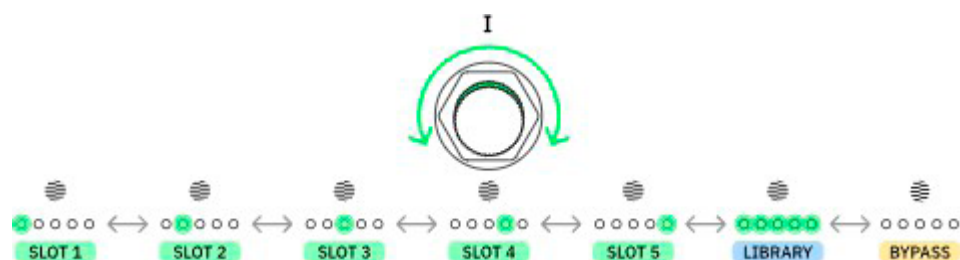
**LEVEL** を回してマスターアウトプットのボリューム（**OUTPUT 1L** と **2R**）を調整します。

背面の **HP OUT** ノブを使用してヘッドフォンボリュームを調整します。



**BANK** を押してキャプチャースロットのバンクを切り替えます。

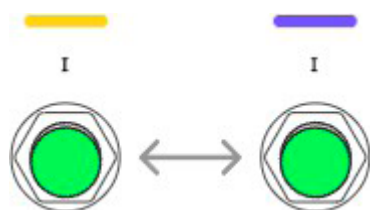
(5 スロット × 5 バンクで構成されています。)



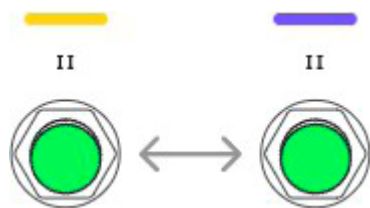
**Footswitch I** を時計回りまたは反時計回りに回すことで、キャプチャースロットを上図のように切り替えることが可能です。

どのスロットにもアサインされていないライブラリーの Neural Capture を使用するとすべての LED が点灯します。

Neural Capture をバイパスするにはすべての LED が消灯しているポジションを選択ください。



**Footswitch I** を押してプリセット **IA** から **IB** まで切り替えます。Cortex Cloud アプリを使うと、様々なプリセットをアサインできます。

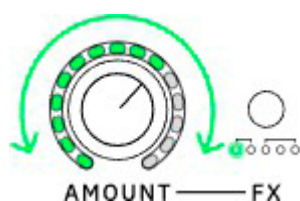


**Footswitch II** を押してプリセット **IIA** から **IIB** まで切り替えます。Cortex Cloud アプリを使うと、様々なプリセットをアサインできます。

---

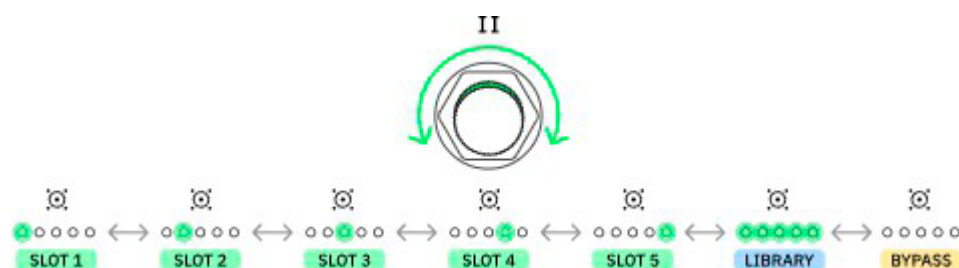


**FX** を押す度にエフェクトスロット (Pre/Post) が順に切り替わります。**FX** を長押しすると、現在選択されているエフェクトスロットを ON/OFF にすることが可能です。



**AMOUNT** ノブを時計回りまたは反時計回りに回してエフェクトのパラメーターを調整します。

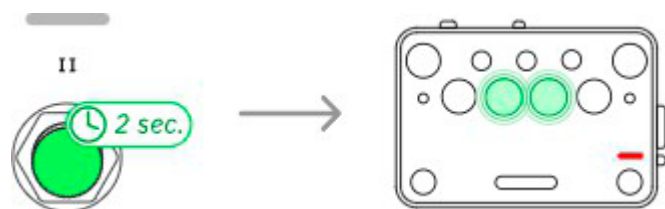
※割り当てられているパラメーターは、選択するエフェクトによって異なります。



**Footswitch II** を時計回りまたは反時計回りに回すことで、IR スロットを上図のように切り替えることが可能です。

どのスロットにもアサインされていないライブラリーの IR を使用するとすべての LED が点灯します。

IR Loader をバイパスするに、すべての LED が消灯しているポジションを選択してください。



**Footswitch II** を 2 秒長押しするとチューナーが起動します。**Footswitch II** をもう一度押すとチューナーを終了します。



**EXIT**、**CAPTURE**、そして **SAVE** ボタンは Neural Capture プロセス、プリセットの保存、そして Bluetooth のペアリングで使用します。

# Neural Capture クイックガイド

Neural Capture は、あらゆる物理的なアンプ、キャビネット、オーバードライブペダルのサウンド特性を学習し、かつてないほどの精度とリアリズムで再現することが可能な Neural DSP 独自のパワフルなツールです。

Neural Capture を作成するには、Nano Cortex をオーバードライブペダルやマイキングされたキャビネット、アンプのスピーカーアウトからの信号が入力されたリアクティブロードボックスなどに接続してください。

## クイックコネクション・ダイアグラム



**CAPTURE** ボタンを押してキャプチャーモードにアクセスします。このモードでは、CAPTURE ボタンの LED リングが点灯します。

---

## 01 リファレンス・インストゥルメント

楽器を **INPUT** に接続してください。

---

## 02 モニタリングデバイス

ヘッドフォンを **HP OUTPUT** に接続するか、モニタースピーカーを **OUTPUT 1L** に接続してください。

---

### 03 ターゲットデバイス

Nano Cortex の **OUTPUT 2R** (キャプチャー出力) をターゲットデバイスのインプットに接続してください。

---

### 04 NANO CORTEX への入力

ターゲットデバイスからの出力を、Nano Cortex の **CAPTURE INPUT** に接続してください。

---

### 05 CAPTURE INPUT ゲイン



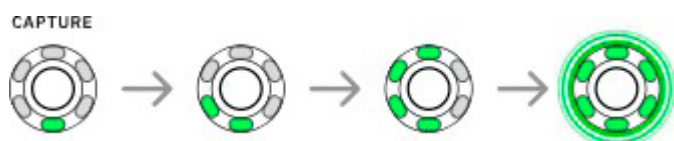
CAPTURE INPUT のレベルを **GAIN** ノブで調整します。

---

### 06 CAPTURE



**CAPTURE** ボタンを 3 秒長押ししてキャプチャーを開始します。



Neural Capture のプロセスが開始されると、CAPTURE ボタンの LED リングが 1 つずつ点灯します。

## 07 テストと保存



**Footswitch I** を押して **Neural Capture** と Target Device を切り替えます。



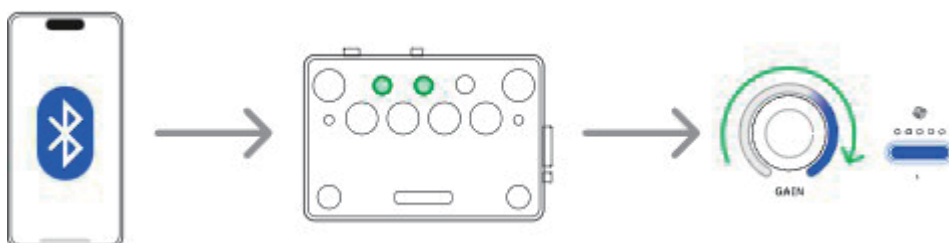
**SAVE** ボタンを押して作成したキャプチャーを保存します。保存する BANK とキャプチャースロットを選択し、**SAVE** を 3 秒間長押しすると Neural Capture が保存されます。

## Cortex Cloud アプリのペアリング



スマートフォンで Cortex Cloud アプリを開いて、**Devices** メニュー（上図）にアクセスし、**Add New.** をタップしてください。

スマートフォンが近くの Nano Cortex を検索します。



**EXIT** と **CAPTURE** を同時に 1 秒間長押しすると、Nano Cortex がペアリングモードに入ります。

GAIN LED リングが時計回りに点灯、Footswitch I の LED がゆっくりと点滅し、Nano Cortex がペアリングモードに入ったことを表します。



ペアリングが完了すると、アプリに現在の Nano Cortex の設定が表示されます。



ペアリングモード中、**EXIT** ボタンを押すとパフォーマンスモードに戻ります。



## I/O クリッピングアラート

**GAIN** と **LEVEL** ノブで入力または出力がクリッピングしているか確認できます。

### パフォーマンスモード



**INPUT** で信号のクリッピングを感知した場合、**GAIN** ノブが 3 回点滅します。



**OUTPUTS 1L/2R** で信号のクリッピングを感知した場合、**LEVEL** ノブが 3 回点滅します。

### キャプチャーモード

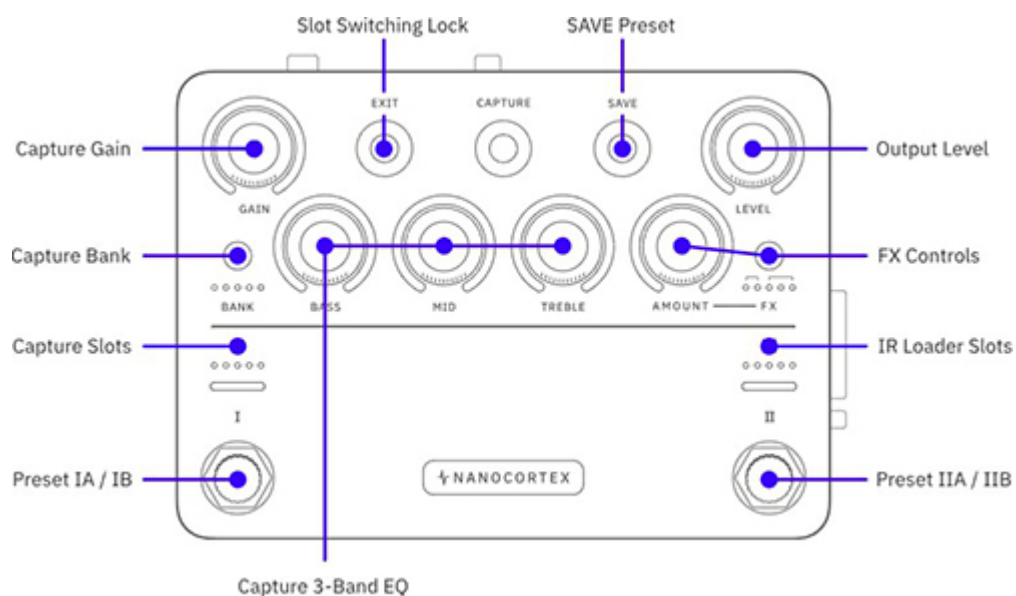


**CAPTURE INPUT** で信号のクリッピングを感知した場合、**GAIN** ノブが赤く点灯します。



**OUTPUTS 1L/2R** で信号のクリッピングを感知した場合、**LEVEL** ノブが 3 回点滅します。

## 04 パフォーマンス・モード



### パフォーマンス・モードへのアクセス

パフォーマンス・モードでは、設定したサウンドで演奏することが可能です。Nano Cortex は起動後、自動的にパフォーマンス・モードに入ります。

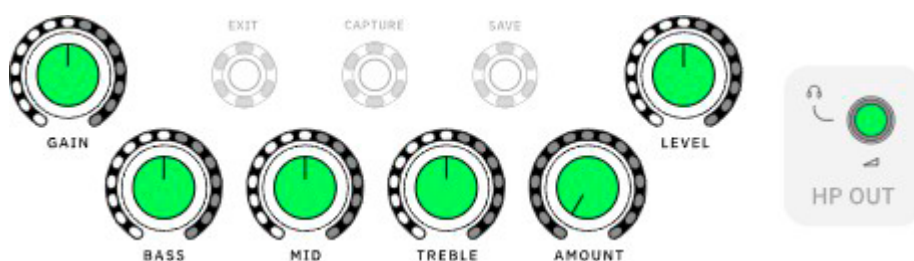
## シグナルパス

Nano Cortex は、信号を同時または個別に使用できる異なるエフェクトスロットで構成された、固定のオーディオ・チェーンを入力信号が経路することでサウンドを作り出します。



- 2つのプリ・エフェクトスロット
- 1つの Neural Capture スロット
- 1つの IR Loader スロット
- 3つのポスト・エフェクトスロット

## パフォーマンスモードのコントロール



- **GAIN** : 現在の Neural Capture のゲインを設定します。
- **BASS** : 現在の Neural Capture の低域を設定します。
- **MID** : 現在の Neural Capture の中域を設定します。
- **TREBLE** : 現在の Neural Capture の高域を設定します。
- **AMOUNT** : 現在選択している Pre/Post エフェクトの AMOUNT ノブにアサインされているパラメーターをコントロールします。

※アサインされているパラメーターはエフェクトによって異なります。

- **LEVEL** : マスターアウトプットのボリューム (OUTPUT 1L と 2R) を調整します。



- **HP OUT** : ヘッドフォンアウトのボリュームを調整します。

## ノブオペレーション・モード

ノブを時計回りまたは反時計回りに回して値を調整します。



Nano Cortex のノブは、LED リングによって実際の値が表示されます。プリセットを呼び出した際などは、現在のノブのポジションとは異なる表示となる場合があります。

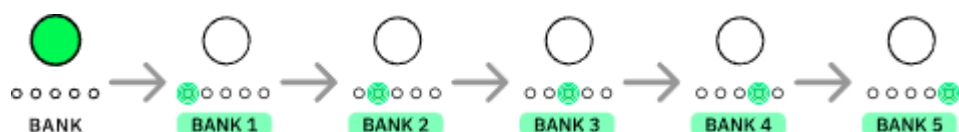
デフォルトでは、Nano Cortex のノブを回すと瞬時にノブのポジションと同じ値に変更されます。

「**Catching Knobs Instantly**」設定が無効となっている場合、Nano Cortex は **Latching Mode** での動作となり、ノブの位置が LED リングの値と一致するまで値が変更できなくなります。

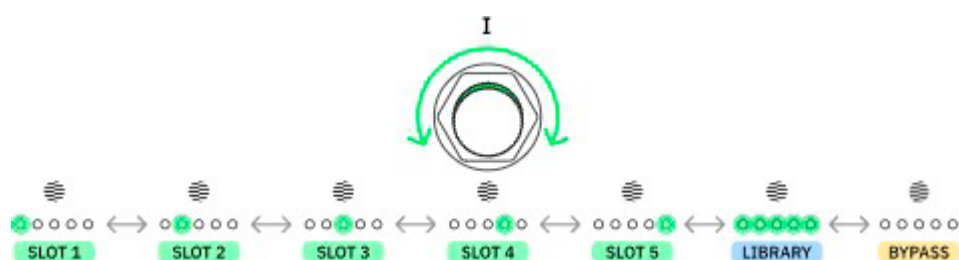
# CAPTURE ライブラリー

Nano Cortex には、25 個の既存の Neural Capture が 5 つのバンクに分けて保存されています。それぞれのバンクには、5 個の Neural Capture を保存できます。

## バンク / スロットナビゲーション



**BANK** を押してキャプチャーバンクを切り替えます。選択したバンクによって該当する LED が点灯します。



**Footswitch I** を時計回りまたは反時計回りに回すことで、キャプチャースロットを切り替えられます。選択したスロットに該当する LED が点灯します。

どのスロットにもアサインされていないライブラリーの Neural Capture を使用すると、すべての LED が点灯します。

Neural Capture をバイパスするには LED が点灯していないポジションまで切り替えてください。

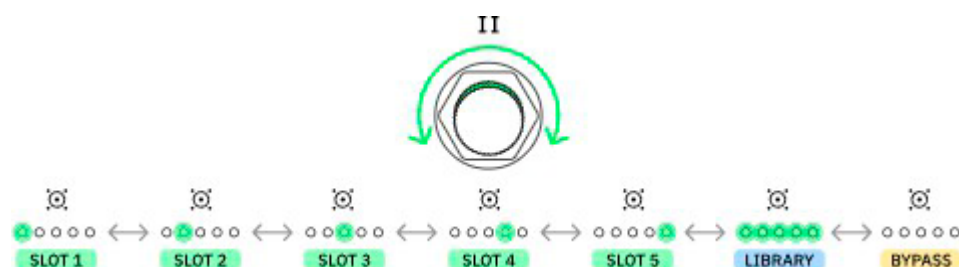
## CORTEX CLOUD ライブラリー

Nano Cortex は、25 個の既存の Neural Capture とは別にユーザーが作成した Neural Capture を 256 個まで保存できます。これらは Cortex Cloud アプリから管理できます。

# IR ローダー

Nano Cortex の既存の Impulse Response は 5 つの IR Loader スロットからアクセスできます。

## IR の切り替え



**Footswitch II** を時計回りまたは反時計回りに回すことで、IR スロットを切り替えることが可能です。選択したスロットによって該当する LED が点灯します。

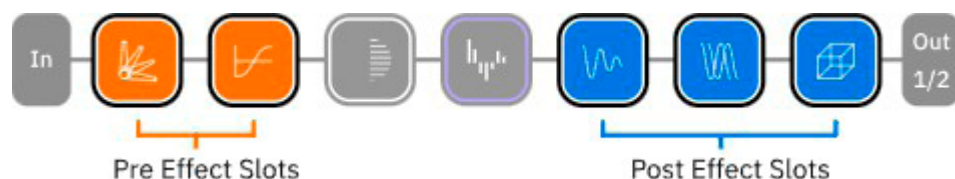
どのスロットにもアサインされていないライブラリーの IR を使用すると、すべての LED が点灯します。

IR Loader をバイパスするには、LED が点灯していないポジションまで切り替えてしてください。

## CORTEX CLOUD ライブラリー

Nano Cortex は、5 個の既存の Impulse Response とは別に、ユーザーが作成した Impulse Response を 256 個保存できます。これらは Cortex Cloud アプリから追加できます。アップロードした IR ファイルは「User Impulse Responses」フォルダに保存されます。

# エフェクト



Nano Cortex には、同時または個別に使用できる **5** つのエフェクト・スロットがあります。

## EFFECT SLOT ナビゲーション



**FX** ボタンを押してエフェクト・スロットを順に切り替えます。選択されたスロットは、LED が点滅します。



**FX** ボタンを長押しすることで、現在選択されているエフェクトの ON/OFF を切り替えることが可能です。現在の状態を LED の点灯 / 消灯で表します：



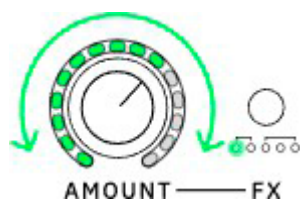
バイパスしたエフェクト・スロットは LED がオフになります。



アクティブにしたエフェクト・スロットは LED がオンになります。



現在選択されているエフェクト・スロットは LED が点滅します。



AMOUNT ノブを時計回りまたは反時計回りに回して、現在選択している Pre/Post エフェクトの AMOUNT ノブにアサインされているパラメーターをコントロールします。

※アサインされているパラメーターはエフェクトによって異なります。



## AMOUNT ノブの動作

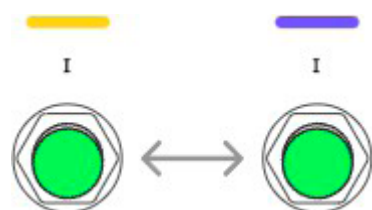
選択したエフェクト・スロットによって、AMOUNT ノブでコントロールするパラメーターが異なります：

- **EFFECT 1**：ノイズゲート。AMOUNT ノブは NOISE REDUCTION の値を調整します。
- **EFFECT 2**：ピッチシフター。AMOUNT ノブは SEMITONE の値を調整します。
- **EFFECT 3**：モジュレーター。AMOUNT ノブは MIX の値を調整します。
- **EFFECT 4**：ディレイ。AMOUNT ノブは MIX の値を調整します。
- **EFFECT 5**：リバーブ。AMOUNT ノブは MIX の値を調整します。

## プリセットの切り替えと保存

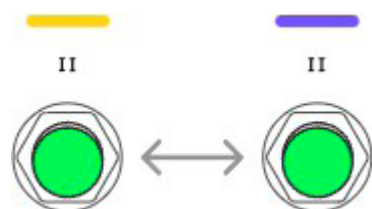
Nano Cortex は、デフォルトで Cortex Cloud アプリを使わずにカスタマイズが可能な 4 つのプリセットが含まれます。

### プリセットの切り替え



Footswitch I を押して、プリセット IA と IB を切り替えます。

---



Footswitch II を押して、プリセット IIA と IIB を切り替えます。

Neural Capture、IR Loader、そしてエフェクト・スロットの設定もアップデートされます。Cortex Cloud アプリを使うと、様々なプリセットを設定できます。

---

### プリセットの保存



SAVE ボタンを 2 秒長押しして、現在のプリセットの設定を上書きします。

## 変更を保存しない



現在呼び出しているプリセットの設定が変更されたとき、保存前であれば **SAVE** ボタンの LED リングがゆっくりと点滅します。



プリセットの変更を保存せず、破棄する場合は **EXIT** を押します。

# Capture Volume モード

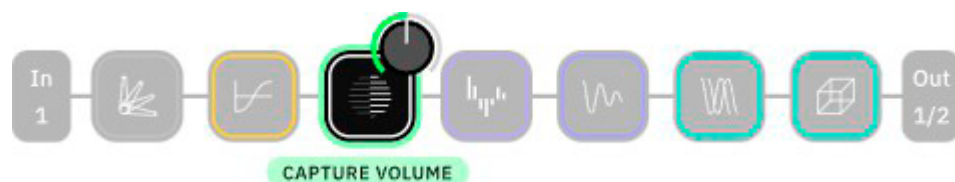


**CAPTURE** ボタンを 2 秒長押しして、Capture Volume モードを有効にします。



このモードでは、**CAPTURE** ボタンと **LEVEL** ノブの LED リングがゆっくり点滅します。

## LEVEL ノブの動作



**LEVEL** ノブを回して、シグナルチェーンの Capture スロットの出力レベルを -24dB から +12dB の間で調整します（デフォルトは 0.0dB）。

※この時、**LEVEL** ノブはラッチ・モードで動作します。ノブの位置が LED リングの値と一致するまでボリュームは変更されません。





**SAVE** を 2 秒長押しして、現在のプリセット設定を上書きします。

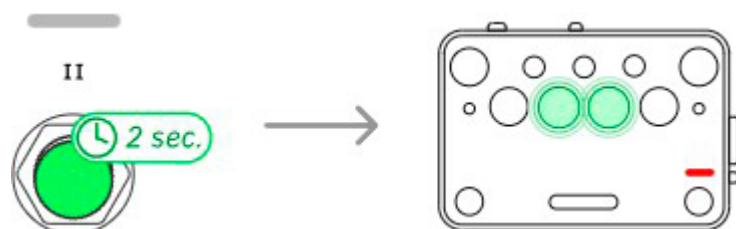
---



**EXIT** を押して Capture Volume モードを終了します。

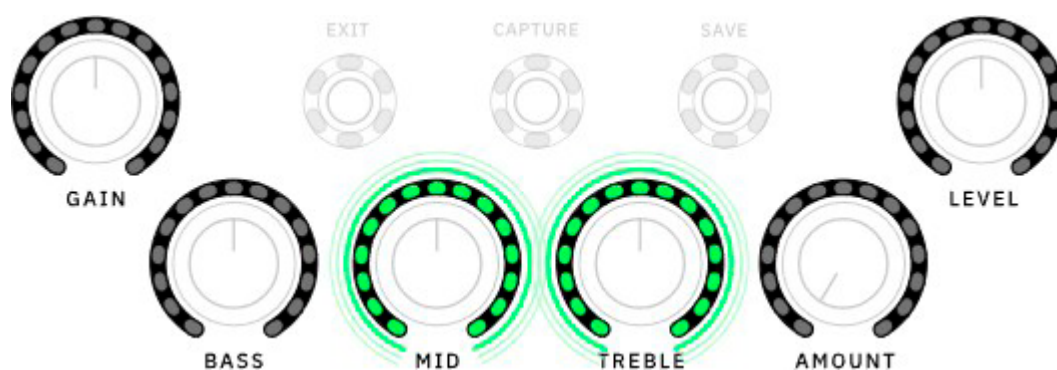
## チューナー

Nano Cortex にはクロマチックチューナーが内蔵されています。入力された信号を検知し、ピッチの誤差を LED リングで表します。

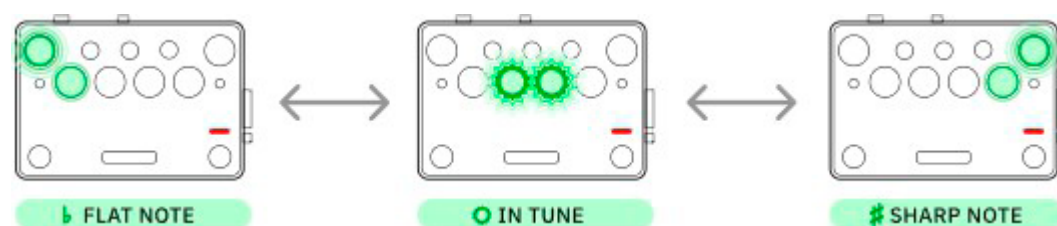


パフォーマンス・モードで **Footswitch II** を長押しするとチューナーが起動します。

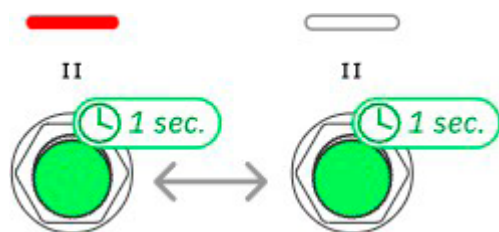
### チューニングディスプレイ



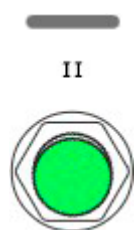
信号が入力されると **GAIN**、**BASS**、**MID**、**TREBLE**、**AMOUNT**、そして **LEVEL** の LED リングが点灯し、現在の音のピッチ (-/+ 50 セント) をクロスフェードのアニメーションで表します。



音が低いとクロスフェードが左に動き、高いと右に動きます。音程が合っている場合、**MID**と**TREBLE** が素早く点滅します。



チューナーが起動しているときに、**Footswitch II** を 1 秒間長押しすると入力信号のミュート / ミュー  
ト解除を切り替えられます。



もう一度 **Footswitch II** を押すとチューナーを終了します。

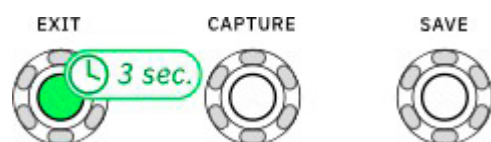
### チューナーの同期

Nano Cortex でチューナーが作動すると、自動的に Cortex Cloud アプリに表示  
されます。同様に、Cortex Cloud アプリでチューナーを開くと、Nano Cortex  
でもチューナーが起動します。



## パラメーターの固定

パフォーマンス中に誤ってパラメーターを変えてしまわないよう、ノブやフットスイッチの回転機能を一時的に無効化することが可能です。



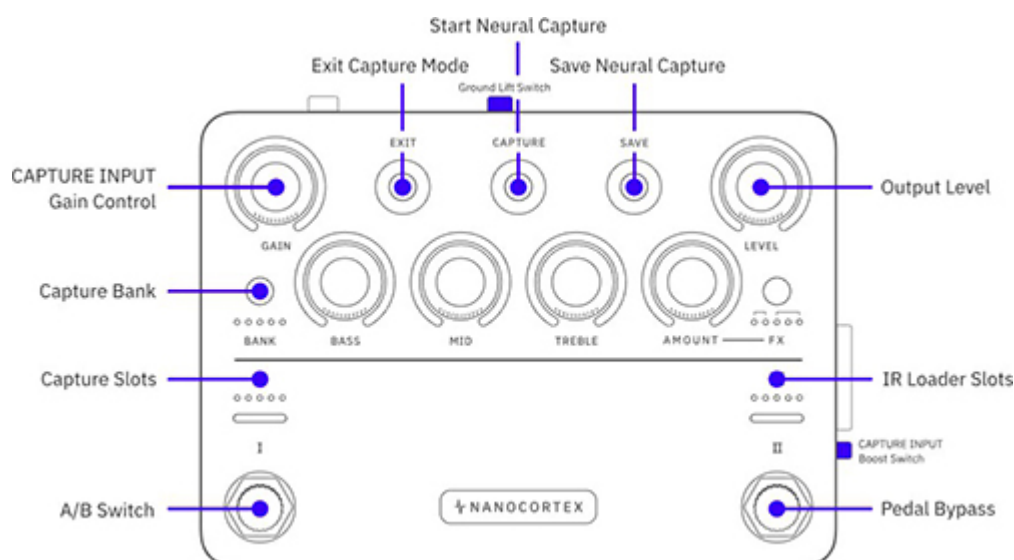
**EXIT** ボタンを 3 秒長押ししてパラメーターロックのオン / オフを設定します。



パラメーターロックが有効な場合、**EXIT** ボタンの LED リングが点灯します。



## 05 キャプチャーモード



### Neural Capture とは？

Neural Capture は、あらゆる物理的なアンプ、キャビネット、オーバードライブペダルのサウンド特性を、かつてないほどの精度とリアリズムで再現することが可能な Neural DSP 独自のパワフルなツールです。

新しい Neural Capture の作成は、Cortex Cloud アプリを使わずに Nano Cortex 本体で行えます。

Neural Capture を作成するには、オーバードライブペダルやマイキングされたキャビネット、アンプのスピーカーアウトからの信号が入力されたリアクティブロードボックスなどに接続できる環境が必要です。

Neural Capture は、マイクを含む実際のデバイスのスナップショットです。そのため、マイクとキャビネットの位置なども考慮する必要があります。

Nano Cortex のキャプチャーインプットはダイナミックマイクに対応しています。コンデンサーマイクを使用する場合には、ファンタム電源を供給可能な外部マイクプリアンプが必要です。

### 真空管アンプをキャプチャーする際の注意点

真空管アンプのスピーカー出力を Nano Cortex に直接接続すると、両方のデバイスを損傷する恐れがあります。以下のいずれかを使用してください。

- ・ D.I. アウトとアンプはスピーカーキャビネットに接続してください。
- ・ ターゲット・デバイスと Nano Cortex の間にリアクティブ・ロード・ボックスを使用してください。



## キャプチャー・モードへのアクセス



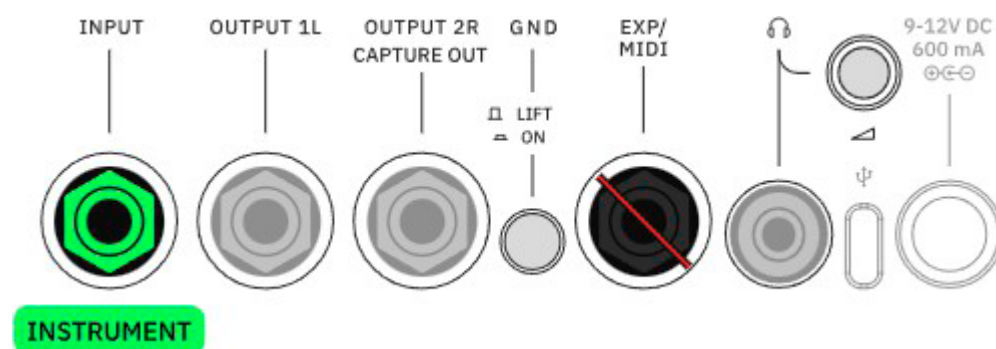
**CAPTURE** ボタンを押して、キャプチャー・モードにアクセスします。このモードでは、CAPTURE ボタンの LED リングが点灯します。



**EXIT** ボタンを押すと、パフォーマンス・モードに戻ります。

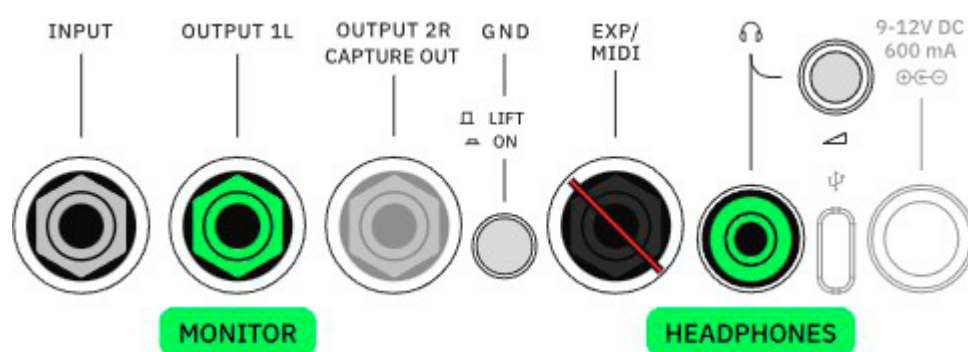
# コネクション・ダイアグラム

## 01 リファレンス・インストゥルメント



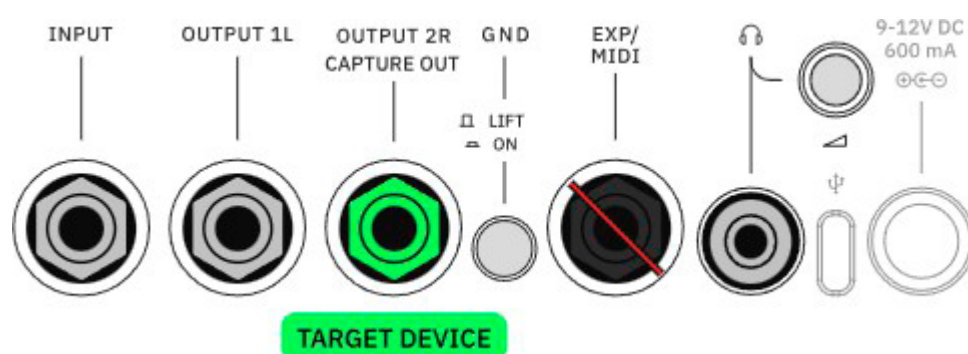
楽器を **INPUT 1** に接続してください。

## 02 モニタリングデバイス



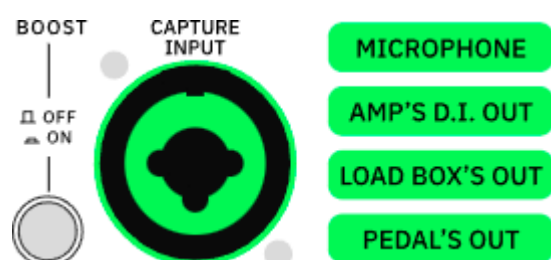
ヘッドフォンを **HP OUTPUT** に接続するか、モニタースピーカーを **OUTPUT 1L** に接続してください。

### 03 ターゲットデバイス

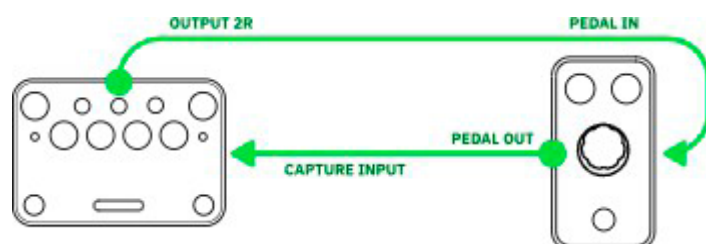


Nano Cortex の **CAPTURE OUT** (OUTPUT 2R) をターゲットデバイスのインプットに接続してください。

### 04 NANO CORTEX への入力



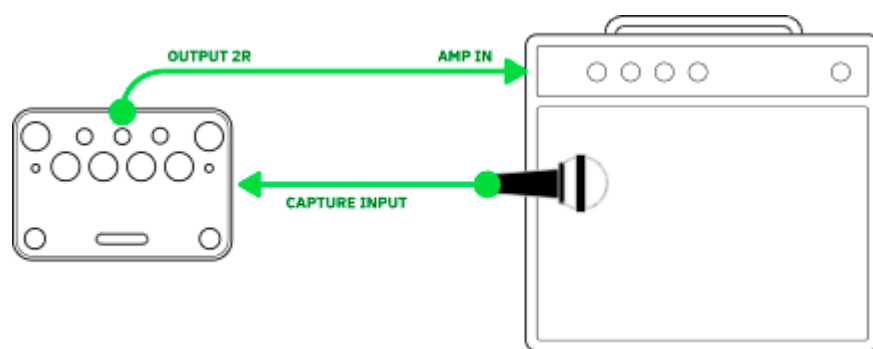
#### オーバードライブペダル



オーバードライブペダルをキャプチャーする場合、アウトプットを直接 Nano Cortex の

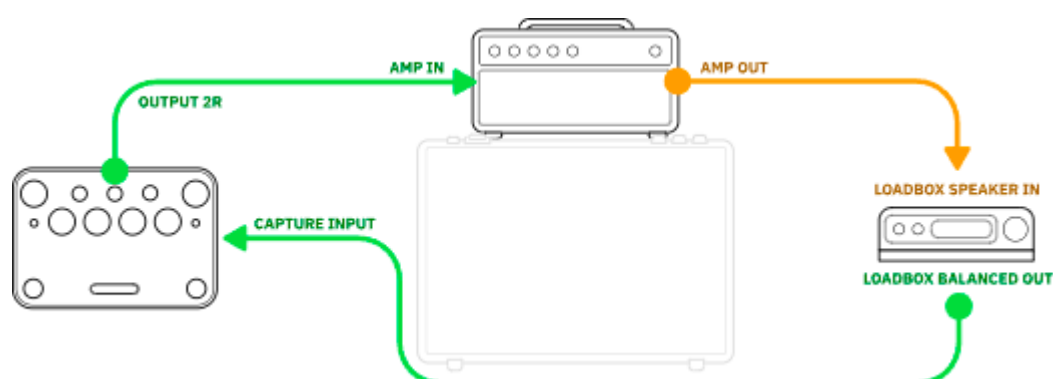
**CAPTURE INPUT** に接続してください。

## アンプ + キャビネット / コンボアンプ



スピーカーキャビネットの前にマイクを設置し、Nano Cortex の CAPTURE INPUT に接続します。Nano Cortex のキャプチャーインプットはダイナミックマイクに対応しています。コンデンサーマイクを使用する場合には、ファンタム電源を供給可能な外部マイクプリアンプが必要です。

## アンプヘッド (スピーカーなし)



内臓スピーカーを持たないアンプやアンプヘッドを使う場合、アンプの「スピーカーアウト」をリアクティブロードボックスに接続してください。その後、ロードボックスのバランス・アウトプットを Nano Cortex の **CAPTURE INPUT** に接続してください。

## 05 セットアップレビュー

すべてが正しく接続されたら、キャリブレーション設定を行います。

# Neural Capture キャリブレーション設定

キャプチャー・モードからキャリブレーション設定にアクセスできます。

マイクの位置（スピーカーキャビネットの前にマイクを設置した場合）とターゲットデバイスの設定を確認し、Nano Cortex の **GAIN** ノブが最低位置（0%）になってることをご確認ください。

## メインコントロール

- **GAIN** : CAPTURE INPUT のゲインを時計回りに最大 +24dB まで上げられます。LED リングはキャプチャーインプットのレベルを表すメーターとして機能します。
- **LEVEL** : Nano Cortex の全体的アウトプットレベルを調整します（OUTPUT 1L と 2R）。
- **FOOTSWITCH II** : 時計回りまたは反時計回りに回すことで、IR スロットを切り替えられます。選択したスロットによって該当の LED が点灯します。IR Loader をバイパスするには LED が点灯していないポジションまで切り替えてください。
- **CAPTURE** : 3 秒長押ししてキャプチャーを開始します。

---

## その他のコントロール

- **HP LEVEL** : ヘッドフォンアウトのボリュームを調整します。
- **GND SWITCH** : OUTPUT 1L と 2R のグラウンドリフトのオン / オフを切り替えます。この機能は、外部機器とのグラウンドループに起因するノイズを低減または除去する際に使用します。
- **BOOST SWITCH** : アナログブースト・サーキットのオン / オフを設定します。オンの場合、CAPTURE INPUT を +26dB ブーストします。

## GAIN ノブの動作

キャプチャー・モードでは、LED リングは CAPTURE INPUT のレベルを表すメーターとして機能します。



- CAPTURE INPUT レベルが適切な場合、GAIN の LED リングは緑色に点灯します。
- CAPTURE INPUT レベルが低い場合、GAIN の LED リングは青色に点灯します。GAIN または BOOST スイッチを使ってレベルを上げてください。
- CAPTURE INPUT レベルがクリッピングしている場合、GAIN の LED リングは赤色に点灯します。信号のレベルが正常（緑色の LED）になるように、BOOST スイッチを切るか、アウトプットレベルを下げてください。

### アナログブーストにおける注意点

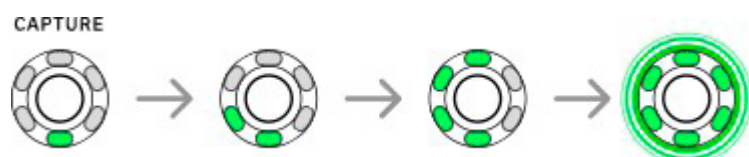
BOOST スイッチを入れる前に、GAIN ノブが最小の位置（0%）に設定されていることを確認してください。



## キャプチャーのプロセス



**CAPTURE** ボタンを 3 秒長押し、キャプチャーを開始します。**EXIT** ボタンを押すとパフォーマンス・モードに戻ります。



Neural Capture を開始すると CAPTURE ボタンの LED リングが徐々に点灯します。キャプチャーのプロセスは約 **5** 分で終了します。

Nano Cortex は、ターゲットデバイスとのレイテンシーを測定し、モデリングに使用する記録信号に変換します。サニティーチェックが終わると、Nano Cortex がニューラルネットワークにターゲットデバイスのトーンやダイナミックレスポンスをトレーニングします。

トレーニングプロセスが完了すると、Neural Capture をテストし、保存することができます。



# Neural Capture のテストと保存

キャプチャー完了後、キャプチャーとターゲットデバイスを A/B 比較できます。

## Neural Capture のテスト



### A/B スイッチング

**Footswitch I** を押して **Neural Capture** と **Target Device** を切り替えます。Footswitch I の LED バーが緑色に点灯しているときは、作成した Neural Capture が選択されていることを表します。Footswitch I の LED バーが消灯しているときは、ターゲットデバイスが選択されていることを表します。

### IR ローダー

作成した Neural Capture を試聴しているときに、**Footswitch II** を時計回りまたは反時計回りに回すことで、IR スロットの切り替えが可能です。選択したスロットによって該当の LED が点灯します。IR Loader をバイパスするには LED が点灯していないポジションまで切り替えてください（スピーカーキャビネットを含むキャプチャーを試聴する際に推奨致します）。

### ペダルバイパス

**Footswitch II** を押すと Nano Cortex をバイパスします。

## Neural Capture の保存



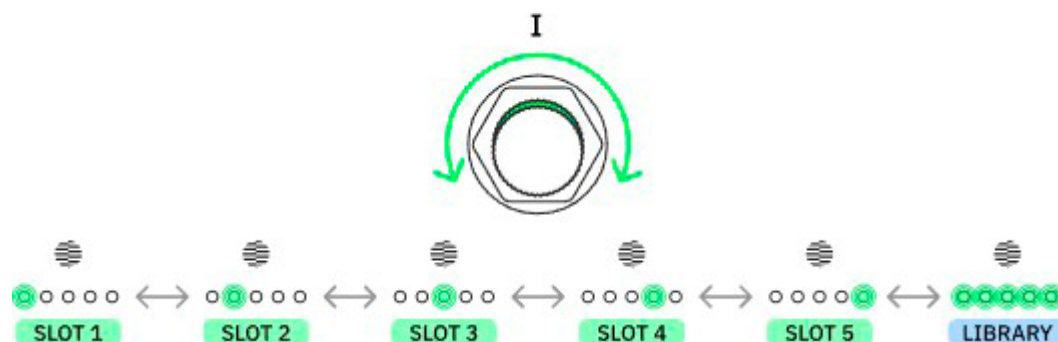
**SAVE** ボタンを押して作成したキャプチャーを保存します。

## 保存場所

**BANK** と **Capture slot** の LED が点滅し、作成したキャプチャーを保存するスロットを選択できる状態になります。



**BANK** を押してキャプチャーバンクを切り替えます。



**Footswitch I** を時計回りまたは反時計回りに回すことで、キャプチャースロットを切り替えられます。

LED が点灯しているポジションはユーザーライブラリー指定していることを表します。このポジションを選択することで、スロットにアサインせず、作成した Neural Capture を保存できます。



**SAVE** ボタンを 3 秒間長押しして Neural Capture を選択したスロットに保存します。

---

### キャリブレーション設定に戻る



**EXIT** ボタンを押してキャリブレーション設定に戻り、新しいキャプチャプロセスを始めます。再度 EXIT を押すと、パフォーマンス・モードに戻ります。

## 06 Cortex Cloud アプリ



### Cortex Cloud 機能

Cortex Cloud アプリを連動させることで、より詳細なプリセットのカスタマイズや機能を使用することが可能です。

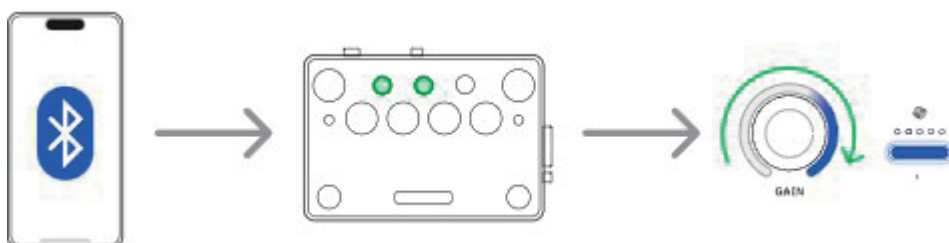
- ・ より詳細なプリセットのカスタマイズ
- ・ 追加のプリセットスロット
- ・ 追加の IR Loader 設定
- ・ Impulse Responses ライブラリー
- ・ Neural Capture メタデータ
- ・ コミュニティーが作成した数千にも及ぶ Neural Capture

# Bluetooth ペアリング



スマートフォンで Cortex Cloud アプリを開き、上図の **Devices** メニューにアクセスし、**Add New** をタップしてください。

スマートフォンが近くの Nano Cortex ユニットを検索します。



**EXIT** ボタンと **CAPTURE** ボタンを同時に 1 秒間長押ししすると、Nano Cortex がペアリングモードに入ります。

GAIN ノブの LED リングが時計回りに点灯し、Footswitch I の LED がゆっくりと点滅をはじめ、Nano Cortex がペアリングモードに入ったことを表します。

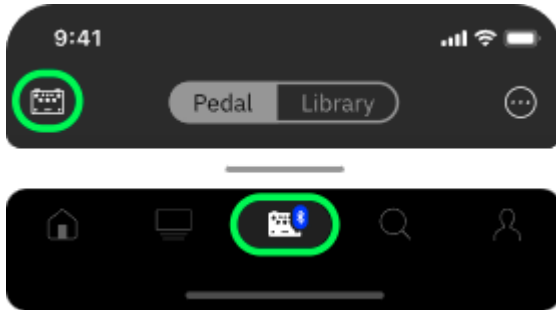


ペアリングが完了すると、アプリに現在の Nano Cortex の設定が表示されます。



ペアリングモード中に **EXIT** ボタンを押すと、パフォーマンス・モードに戻ります。

## デバイス画面



現在使用している Neural DSP 製デバイスを選択してください。選択後、Cortex Cloud アプリには選択したデバイスに対応したコンテンツのみが表示されます：

- **QUAD CORTEX** : Cortex Cloud が Quad Cortex に対応しているプリセットや Neural Capture、そしてユーザーを表示します。
- **NANO CORTEX** : Cortex Cloud が Nano Cortex に対応している Neural Capture とユーザーを表示します。

# コンテンツのダウンロード

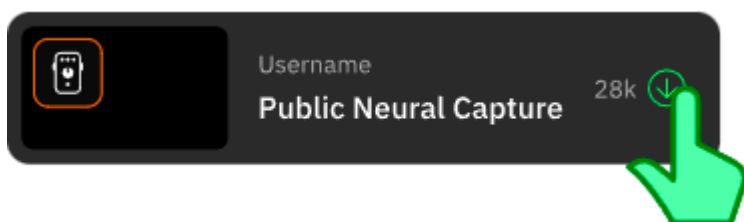


デバイス画面で **Nano Cortex** を選択していることをご確認ください。

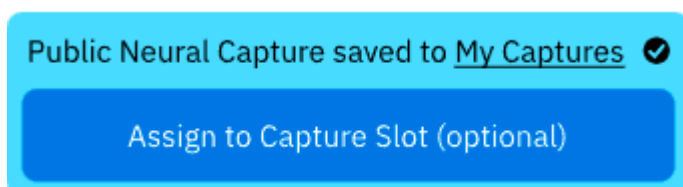
## NEURAL CAPTURE



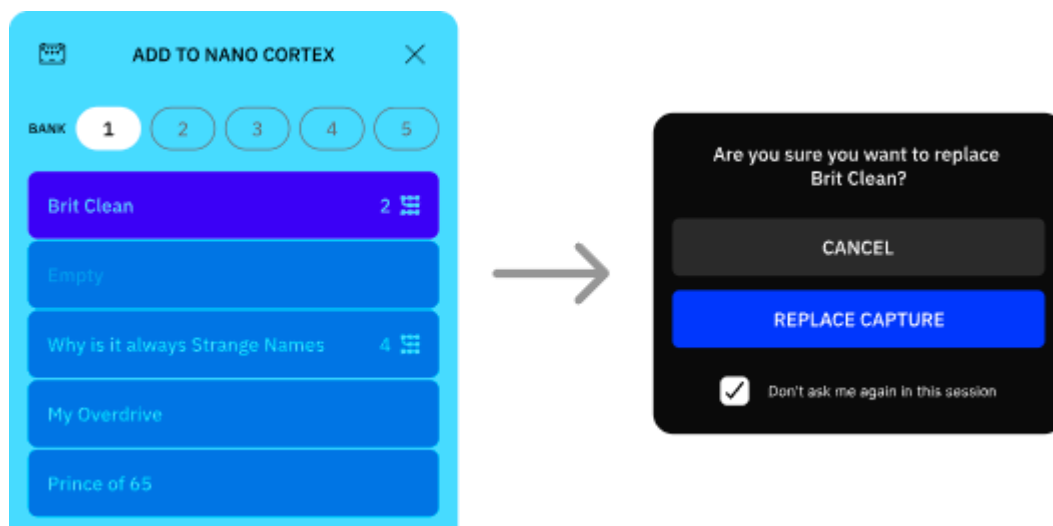
Cortex Cloud 経由で Neural Capture を検索します。



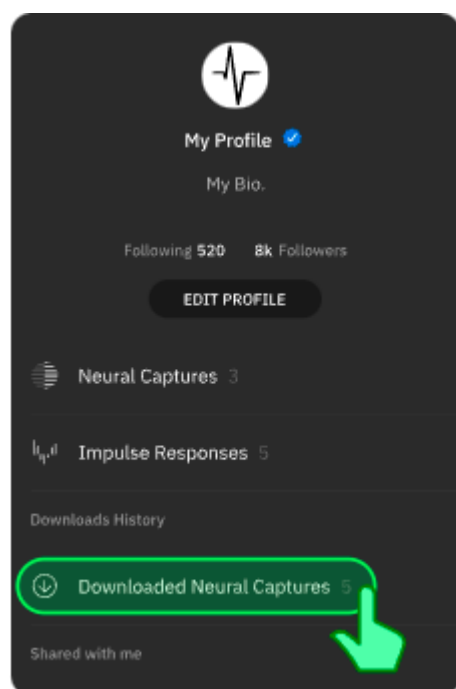
Neural Capture の横のダウンロードボタンを押します。



Neural Capture がライブラリーにダウンロードされます。ポップアップされた Assign to Capture Slot から、バンクもしくはスロットにアサインすることも可能です。



すでに保存済みのスロットに Neural Capture をアサインすると、アサインされたスロットの Neural Capture は上書きされます。



Nano Cortex がオフラインの時にダウンロードされた Neural Capture は、プロフィールの下の **Downloads History** に保管されます。



## インパルス・レスポンスのアップロード

Impulse Response はブラウザ版の Cortex Cloud を通してプロフィールに追加できます。

以下のウェブサイトアクセスしてください：<https://cloud.neuraldsp.com/cloud>

- 1 Cortex Cloud でプロフィールにアクセスします。
- 2 **IMPULSE RESPONSE** セクションに移動します。
- 3 コンピューターからアップロードエリアへ IR ファイルをドラッグアンドドロップします。または、**BROWSE** で任意の場所を選ぶことも可能です。

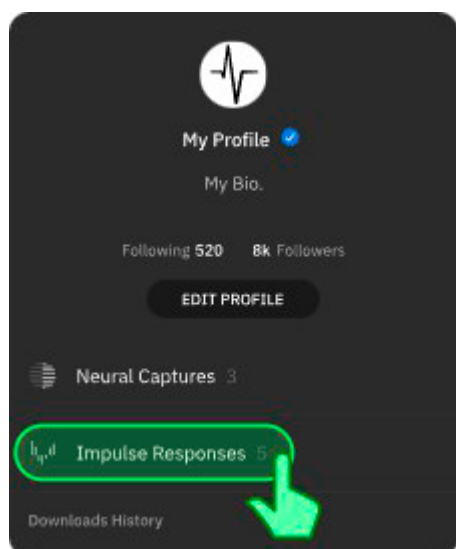
!

### インパルス・レスポンスの互換性

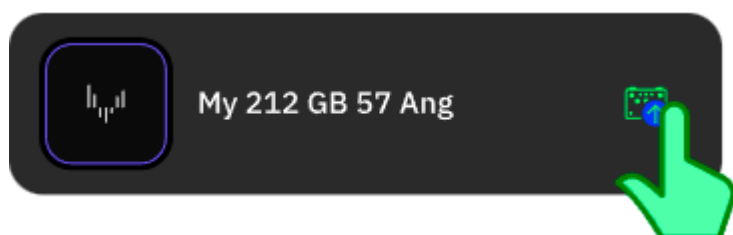
互換性のある WAV ファイルであれば、長さに関係なくクラウドにアップロードできます。  
アップロード後、ファイルは **1024** サンプルにリサイズされます (-21 ミリ秒)。



## インパルス・レスポンスの追加



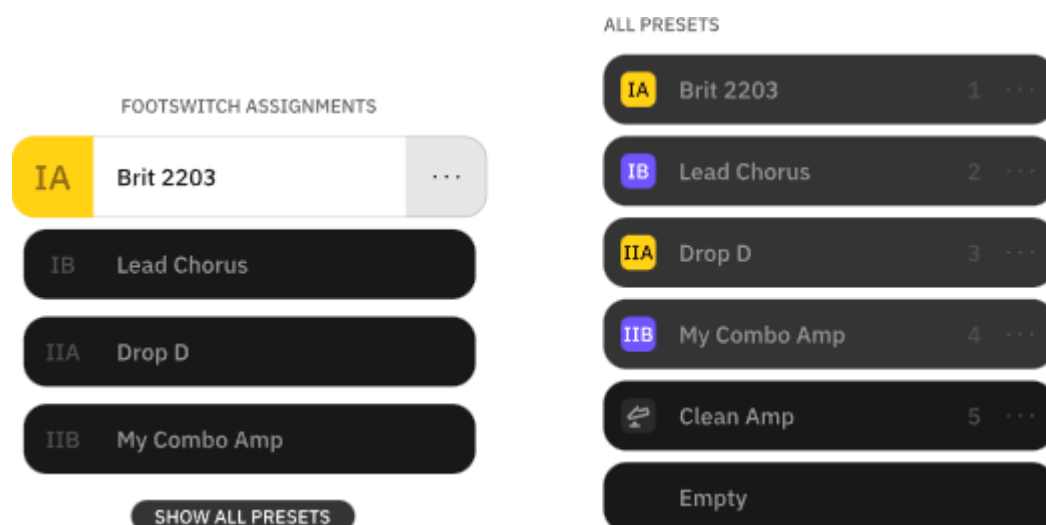
プロフィールにアクセスして、**Impulse Responses** をタップします。



IR ファイルの横のボタンをタップして、Nano Cortex にダウンロードします。

# プリセットライブラリー

Nano Cortex には 64 個のプリセットを保存でき、**Footswitch I** か **II** にアサインするか、MIDI でロードすることが可能です。



**SHOW ALL PRESETS** を選択すると一画面にすべてのプリセットが表示されます。

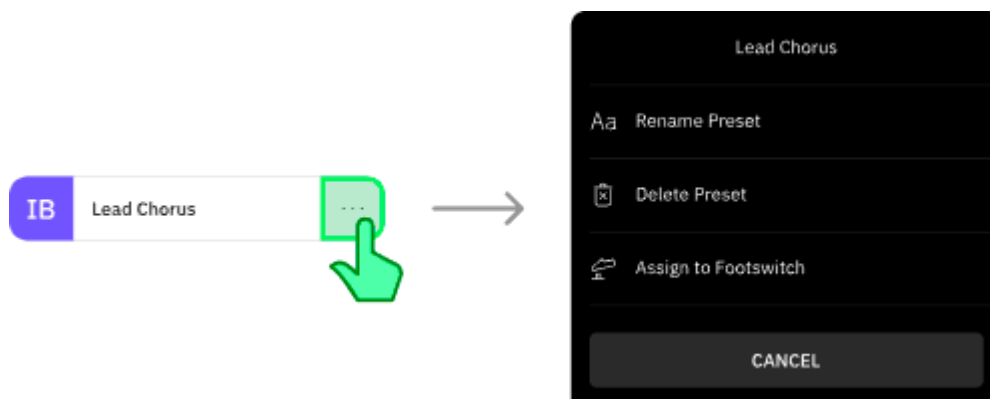
## プリセットのワークフロー



フットスイッチにアサインされたプリセットをタップしてロードします。



アサインされていないプリセットをタップしてロードします。**Footswitch I** の LED バーが赤く点灯し、現在のプリセットがフットスイッチにアサインされていないことを表します。



任意のプリセットの右側のボタンをタップしてコンテキストメニューを開きます：

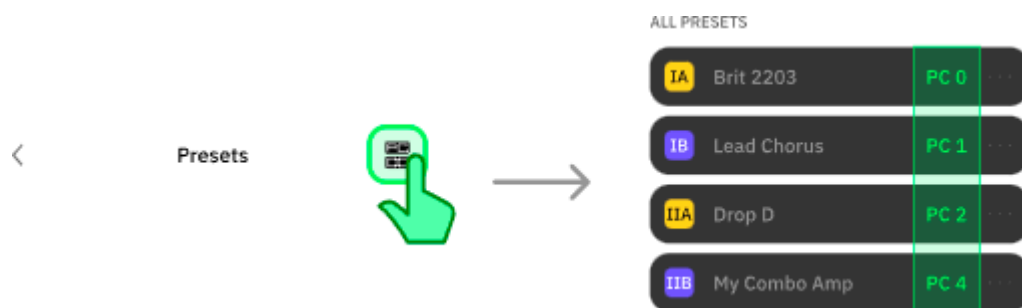
- **RENAME PRESET**：プリセット名を変更します。
- **DELETE PRESET**：プリセットを削除します。
- **ASSIGN TO FOOTSWITCH**：プリセットを任意のフットスイッチにアサインします。



1つのプリセットを同時に複数のフットスイッチのアサインすることも可能です。



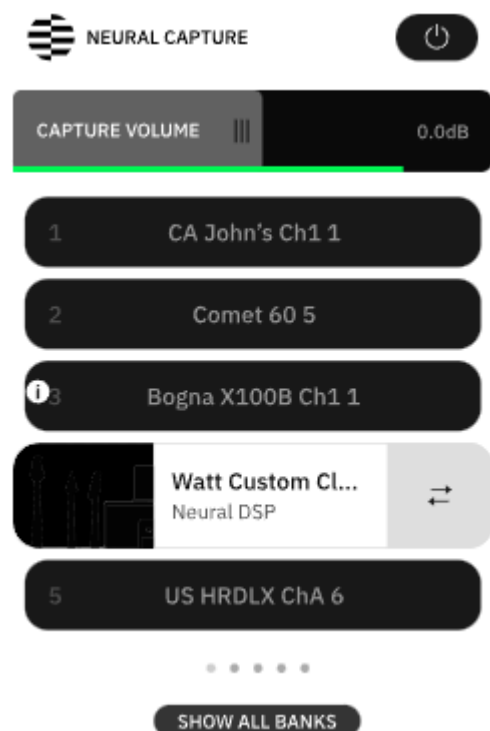
空のプリセットをタップしてロードします。Create New Preset... をタップして新しいプリセットを作成することも可能です。最低でも一つのデバイスを選択し、画面右上の“SAVE”をタップするとプリセットが保存されます。



Cortex Cloud アプリの画面右上にある **PC/CC** ボタンをタップすると、プリセットリストの PC メッセージが表示されます。

# Neural Capture ライブラリー

Nano Cortex は、25 個の既存の Neural Capture を 5 つのバンクに分けて保存されています。それぞれのバンクは、5 個の Neural Capture を保存できます。

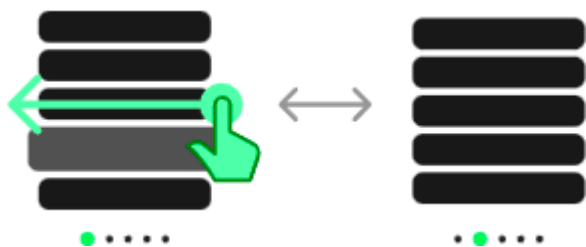


**SHOW ALL BANKS** を選択すると、すべてのキャプチャーバンクが一画面に表示されます。

## Neural Capture ライブラリーワークフロー



**CAPTURE VOLUME** スライダーをドラッグして、現在アクティブなキャプチャーロットのアウトプット音量を調整します (-24dB から +12dB)。



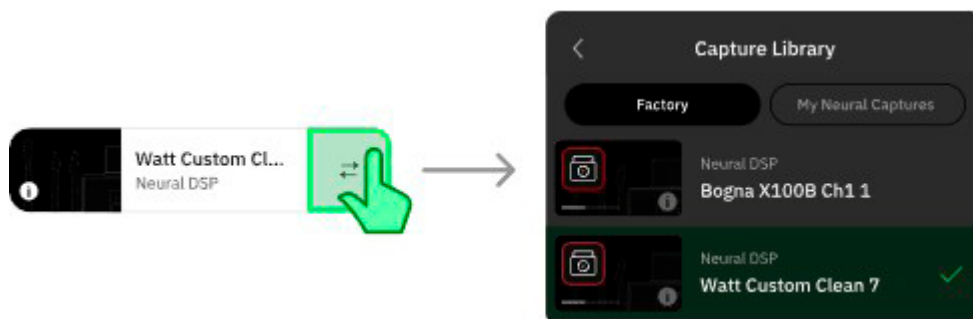
横にスワイプしてキャプチャーバンクを切り替えます。



アクティブではないキャプチャースロットをタップしてアクティブにします。



アクティブなキャプチャースロットをタップして詳細画面を開きます。



アクティブなキャプチャスロットの右側の **swap** ボタンをタップして、キャプチャーライブラリーにアクセスし、現在ロードされている Neural Capture を変更できます。



Neural Capture をタップすると試聴できます。**USE** をタップして現在のスロットにロードします。



**Bypass** ボタンをタップして Neural Capture モジュールをバイパスできます。



# IR Loader ライブラリー

Nano Cortex の既存の Impulse Response は、5 つの IR Loader スロットからアクセスできます。



## IR ローダーのワークフロー!



アクティブではない IR スロットをタップしてアクティブにします。



アクティブな IR スロットをタップするとパラメーター画面が表示されます。



Bypass ボタンをタップして IR Loader をバイパスできます。

# エフェクトライブラリー

Nano Cortex には、同時または個別に使用できる 5 つのエフェクトが搭載されています。



## エフェクトライブラリー ワークフロー



**Bypass** ボタンをタップして選択しているエフェクトを ON/OFF を切り替えます。



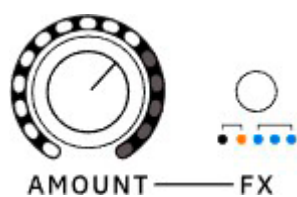
エフェクトスロットをタップして、パラメーター画面を表示します。



保存されていない変更がパラメーター画面にある場合、

エフェクトスロットの左上に白い点が表示されます。

※表示されない

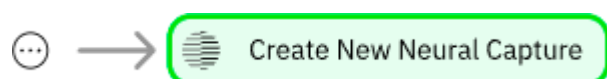


Nano Cortex の **AMOUNT** ノブと **FX** LED は、Cortex Cloud アプリで変更された値が反映されます。

## 新しい Neural Capture を作成 (アプリ)

Cortex Cloud アプリを使わずに Neural Capture を作成することも可能ですが、アプリを使うと、最初から最後までガイド付きで作成できます。

Neural Capture を作成するには、オーバードライブペダル、マイキングされたキャビネット、アンプのスピーカーアウトからの信号が入力されたリアクティブロードボックスなどに接続できる環境が必要です。

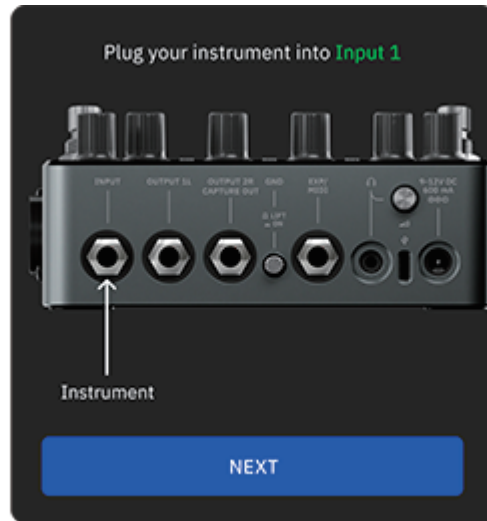


アプリの画面右上のコンテキストメニューボタンをタップして、**Create New Neural Capture** を選択すると、「Connection Diagram」画面にアクセスできます。



Cortex Cloud アプリが開いている状態で Nano Cortex の CAPTURE ボタンを押すとアプリの「Connection Diagram」画面はスキップされ、「Calibration Settings」画面が開きます。

## CONNECTION DIAGRAM 画面



画面上の指示に従ってください。NEXT をタップして、接続手順を切り替えます。

SKIP を押すと「Calibration Settings」画面に切り替わります。

## CALIBRATION SETTINGS 画面

ターゲットデバイスの設定を確認し、Nano Cortex の GAIN ノブが最低位置になってることをご確認ください。

- **CAPTURE GAIN** : CAPTURE INPUT のゲインを最大 +24dB まで上げることが可能です。
- **OUTPUT LEVEL** : Nano Cortex 全体のアウトプットレベルを調整します。  
(OUTPUT 1L とヘッドフォン)
- **IR LOADER** : IR Loader のバイパス状態を切り替えます。
- **IR SLOT** : IR スロットを選択します。
- **START CAPTURE** : タップしてキャプチャーを開始します。

## キャプチャープロセスとメタデータ



Nano Cortex はターゲットデバイスとのレイテンシーを測定し、モデリングに使用される記録信号に変換します。

キャプチャー中は、以下のメタデータを Neural Capture に追加できます：

\* 名称、タイプ、説明、推奨楽器。\*

**NEXT** をタップして「Testing」画面に移動します。

### TESTING 画面

- **NEW NEURAL CAPTURE**：Neural Capture のメタデータを編集します。
- **A/B COMPARE**：モニタリングスイッチ。タップしてターゲットデバイスと作成した Neural Capture を切り替えます。、2、4、6 秒ごとに自動的に切り替わるよう設定することも可能です。
- **IR LOADER**：IR Loader の ON/OFF を切り替えます。
- **IR SLOT**：IR スロットを選択します。
- **SAVE TO SLOT**：作成した Neural Capture をキャプチャースロットに保存します。
- **SAVE TO LIBRARY**：作成した Neural Capture をライブラリーに保存します。

Neural Capture が保存されたら、**DONE** をタップしてキャプチャー・モードを終了します。

# チューナー (アプリ)

Nano Cortex には Cortex Cloud アプリと連携したクロマチックチューナーが内蔵されています。



アプリ画面右上のコンテキストメニューボタンをタップして、**Tuner** を選択します。

## チューナーレイアウト ※

クロマチックチューナーは入力された音のピッチを検知し、Nano Cortex の LED リングと、Cortex Cloud アプリで表示します。

- **EXIT** : チューナーを終了します。
- **TUNING DISPLAY** : 入力された音とピッチを表示します。
- **FREQUENCY** : レファレンスピッチを 400 ~ 480Hz の間で調整します (デフォルトは 440Hz)。
- **MUTE** : チューナーが起動しているときにタップすると、入力信号の **ミュート** / ミュート解除を切り替えられます。

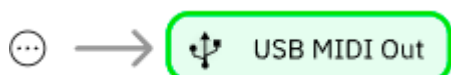
### チューナーの同期

Nano Cortex でチューナーをオンにすると、自動的に Cortex Cloud アプリに表示されます。同様に、Cortex Cloud アプリでチューナーを開くと、Nano Cortex でもチューナーが起動します。



# USB MIDI Out

Nano Cortex はフットスイッチを押したときや、プリセットをロードする際に、USB-C 経由で MIDI メッセージを外部デバイスに昇進します。



アプリの画面右上のコンテキストメニューボタンをタップし、**USB MIDI Out** から設定にアクセスします。

## プリセットのロード

Nano Cortex は、プリセットごとに最大 **12** 系統の **MIDI** メッセージをアサインできます。プリセットをロードすると USB 経由で MIDI メッセージが送られます。

- **EXIT** : USB MIDI 設定画面を終了します。
- **CURRENT PRESET** : プリセットリストにアクセスします。MIDI メッセージをアサインするプリセットを選択します。MIDI メッセージは複数のプリセットにアサインできます。
- **ADD (+)** : 送信する MIDI メッセージを設定します。
- **DELETE** : 設定した MIDI メッセージを削除します。
- **TYPE** : 送信する MIDI メッセージのタイプを設定します (CC または PC)。
- **CHANNEL** : 送信する MIDI メッセージの MIDI チャンネルを設定します (1 から 16)。
- **MIDI メッセージの内容** :

**CC** : CC# とバリュー値。

**PC** : Bank CC#0、Bank CC#32、プログラム。



## フットスイッチ

フットスイッチごとに最大 **12** 系統の **MIDI** メッセージをアサインできます。指定されたフットスイッチを押すと USB 経由で MIDI メッセージが送信されます。

- **EXIT** : USB MIDI 設定画面を終了します。
- **FOOTSWITCH** : フットスイッチを選択します。選択されたフットスイッチにアサインされた MIDI メッセージが画面に表示されます。
- **ADD(+)** : 送信する MIDI メッセージを設定します。
- **DELETE** : 設定した MIDI メッセージを削除します。
- **TYPE** : 送信する MIDI メッセージのタイプを設定します (CC または PC)。
- **CHANNEL** : 送信する MIDI メッセージの MIDI チャンネルを設定します。(1 から 16)。

**MIDI** メッセージの内容 :

**CC** : CC# とバリュー値。

**PC** : Bank CC#0、Bank CC#32、プログラム。

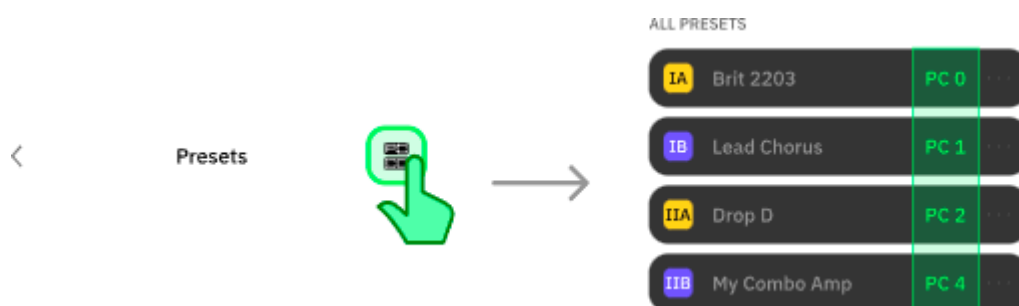
# MIDI サポート

Nano Cortex は、**USB-C** と **TRS MIDI Type-A** 経由で外部のデバイスから MIDI メッセージを受信することが可能です。



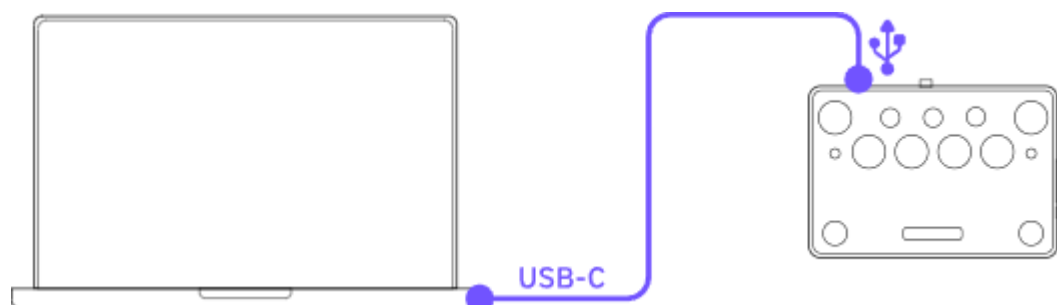
TRS で MIDI IN を有効にするには、アプリの画面右上の contextual menu ボタンをタップして、「Settings」画面で「EXP/MIDI operation mode」が **MIDI** になっていることをご確認ください。

## プログラムチェンジによるプリセットの呼び出し



「ALL PRESETS」の下に表示されるプリセットスロットには、0～63のMIDIプログラム・チェンジメッセージが自動的にアサインされます。画面右上のPC/CCボタンをタップして、PCメッセージの表示/非表示を切り替えられます。

## USB MIDI ルーティング



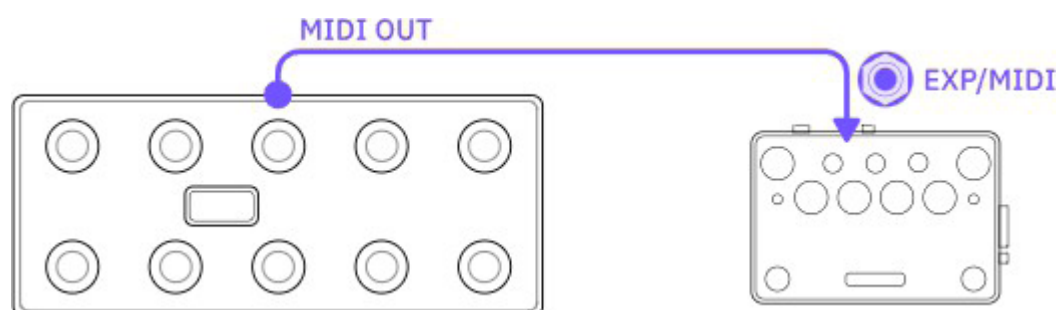
- 1 Nano Cortex を **USB-C** 経由でコンピューターに接続します。
- 2 DAW を開き、Nano Cortex が MIDI デバイスとして認識されていることをご確認ください。
- 3 MIDI Track を作成し、アウトプットを Nano Cortex に設定したのち、MIDI プログラムチェンジ・メッセージを MIDI クリップに入力します。
- 4 プレイバック時、Nano Cortex のプリセットライブラリーからプリセットが呼び出されます。

### Windows® ASIO ドライバー

Windows® コンピュータで USB MIDI を使用するには、弊社ウェブサイトから Nano Cortex ASIO® ドライバをダウンロードし、インストールする必要があります。Mac® コンピュータではドライバのインストールは必要ありません。

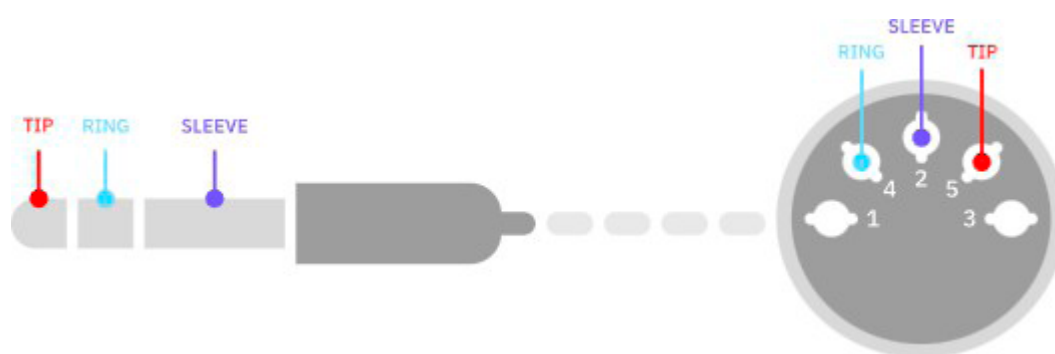


## TRS MIDI TYPE-A ルーティング



- 1 「Nano Cortex Settings」画面で「EXP/MIDI operation mode」が **MIDI** に設定されていることをご確認ください。
- 2 外部 MIDI デバイスの MIDI OUT を Nano Cortex の EXP/MIDI インポートに **TRS MIDI Type-A** ケーブルを使って接続します。
- 3 外部 MIDI デバイスがプログラムチェンジ・メッセージ（プログラム 0 から 63）を送信するように設定します。
- 4 Nano Cortex がプリセットライブラリーからプリセットをリコールします。

## TRS MIDI TYPE-A サポート



**TRS MIDI Type-A** 接続は MIDI Association が採用したオフィシャルの規格です。Nano Cortex の **EXP/MIDI** インポートは、以下の条件を満たした TRS MIDI ケーブルに対応しています：

- **TIP** : Data line (MIDI Din Pin 5)。
- **RING**:Voltage reference line (MIDI Din Pin 4)。
- **SLEEVE**:Shield line (MIDI Din Pin 2)。

## エクスプレッション・ペダルの設定

Nano Cortex 内の多くのパラメーターは、対応するエクスプレッション・ペダルを使用して外部からコントロールできます。



エクスプレッション・ペダルのサポートを有効にするには、アプリ画面右上のコンテキストメニューボタンをタップして、「Settings」画面から「EXP/MIDI operation mode」が **EXPRESSION PEDAL** になっていることをご確認ください。

### エクスプレッション・ペダルのキャリブレーション

Nano Cortex がエクスプレッション・ペダルの稼働範囲を正確に活用できるよう、初めて使用する際は、設定画面でキャリブレーションが必要な場合があります。

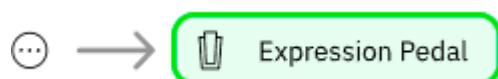
- 1 エクスプレッション・ペダルを設置し、**TRS** ケーブルを使って Nano Cortex の EXP/MIDI インプットに接続します。
- 2 **RECALIBRATE** をタップします。
- 3 エクスプレッション・ペダルをヒールの位置まで戻し、再度つま先の位置まで踏み込みます。



- 4 **SAVE** をタップします。

エクスプレッション・ペダルのキャリブレーション設定は、新たなキャリブレーションを行うまで維持されます。

## エクспRESSION・ペダルのアサイン

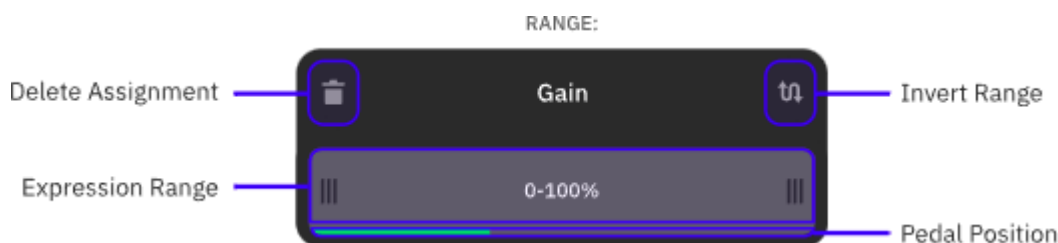


アプリ画面右上のコンテキストメニューボタンをタップして、**Expression Pedal** をタップします。

エクспRESSION・ペダルをアサインして、複数のパラメーターの範囲やバイパスステータスをコントロールできます。

---

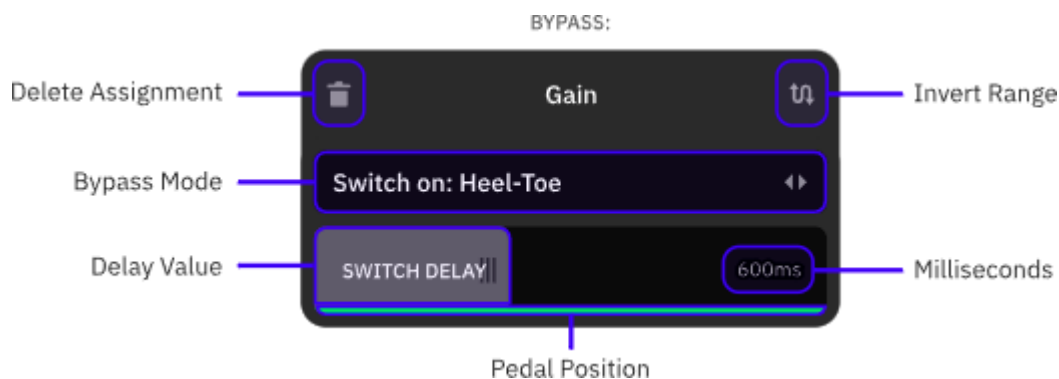
### パラメーター範囲



**GAIN**、**BASS**、**MID**、**TREBLE**、**AMOUNT** と **LEVEL** ノブ。

- 1 エクспRESSION・ペダルで操作したいパラメーターをタップします。同時に複数のパラメーターをアサインできます。
- 2 デフォルトのエクспRESSIONの可変範囲は **0** から **100%** となります。範囲を制限するには該当するパラメーターの端をドラッグしてください。
- 3 右上のボタンをタップするとエクспRESSIONの挙動が反転され、ヒールとつま先の位置が入れ替わります。
- 4 左上のボタンをタップすることでアサインを削除できます。

## スロットバイパス



**CAPTURE**、**IR LOADER**、**EFFECTS** スロット。

1 エクスプレッション・ペダルでバイパスしたいパラメーターをタップします。同時に複数のパラメーターをアサインできます。

2 「**Switch on**」 をタップしてバイパスモードを切り替えます。

**SWITCH**：接続したモーメンタリースイッチでスロットの ON/OFF を切り替えます。 **Latch**

**Emulation** 機能を有効にすると、モーメンタリーの挙動ではなく、ラッチ式の挙動をエミュレートします。

**STOP**：エクスプレッション・ペダルの動作が停止した時にスロットをバイパスします。 **SWITCH DELAY** バーをドラッグして、エクスプレッション・ペダルが停止してからスロットをバイパスするまでの時間を設定します。

**HEEL-TOE**：エクスプレッション・ペダルがヒール・ポジションにあるとき、スロットをバイパスします。 **SWITCH DELAY** バーをドラッグしてスロットをバイパスするまでの時間を設定します (2000ms まで)。

3 右上のボタンをタップするとエクスプレッションの挙動が反転され、ヒールとつま先の位置が入れ替わります。

4 または、左上のボタンをタップすることでアサインを削除できます。

## エクスプレッション・ペダルのサポート

Nano Cortex は、以下の条件を満たしたエクスプレッション・ペダルに対応しています：

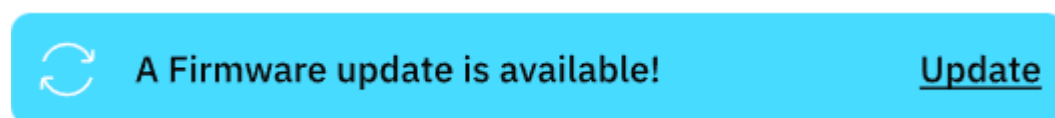
- **TRS コネクター**：1 系統の TRS エクスプレッション・アウトと接続できます。ワウやボリュームのアウトプット端子には対応していません。
- **カーブ**：リニア (B カーブ) またはログリズム (A カーブ) は、初期キャリブレーションを行うことでと正常に使用できます。
- **トゥ・スイッチ**：任意機能。ラッチングや一時的なスイッチに対応しています。一時的なスイッチは Nano Cortex のラッチング機能が有効な場合のみ使えます。
- **その他のコントロール**：任意機能。範囲コントロールノブの反転スイッチも対応しています。



## ファームウェア・アップデート

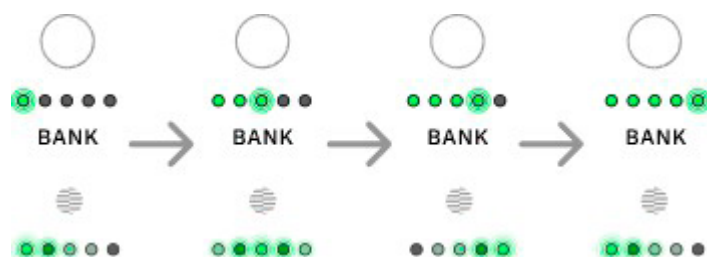
Nano Cortex は、**NanOS** と呼ばれる OS を使用しています。NanOS を最新の状態にしておくことで、Nano Cortex の機能、セキュリティー、全体的なユーザーパフォーマンスが向上します。Nano Cortex が正しくスマートフォンとペアリングされ、インターネット接続が安定していることをお確かめください。

### アップデートプロセス



NanOS アップデートが利用可能な場合、アプリ画面の上部に上図のようなバナーが表示されます。

- 1 バナー右側の **Update** をタップします。
- 2 画面上の指示に従ってください。 **UPDATE** をタップしてダウンロードを開始します。



Nano Cortex の **BANK** と **CAPTURE** の LED がダウンロードの進行状況を表します。ダウンロードが終了したら Nano Cortex がインストールを完了するまで数分お待ちください。

セットアップ後、Nano Cortex が再起動し、自動的にスマートフォンに接続します。

# デバイス設定

設定画面では Nano Cortex の様々な要素をコントロールできます。



アプリ画面右上のコンテキストメニューボタンをタップして、「**Settings**」から Nano Cortex の設定画面にアクセスします。

## Nano Cortex 設定画面

- **DEVICE NAME**  
Nano Cortex に任意の名前を設定できます（22 文字まで）。
- **STORAGE**  
Nano Cortex の空き容量。※アプリで確認できない
- **LED BRIGHTNESS**  
スライダーをドラッグして、Nano Cortex の LED の明るさを調整します（デフォルトは 60%）。
- **PRESET OPERATION MODE**  
**4-Preset Mode** を有効にすると、Footswitch I と II にプリセットをアサイン可能です（IA、IB、IIA、そして IIB）。  
この設定が無効な場合、Nano Cortex は **2-Preset Mode** を使い、Footswitch I からのみプリセット（A と B）をリコールできます。この時、Footswitch II はグローバル・バイパス・スイッチとして機能します。

- **KNOB OPERATION MODE**

デフォルトでは、Nano Cortex のノブは回すと瞬時に値が変更されます。この設定が無効となっている場合、Nano Cortex は Latching Mode を使い、ノブの位置が LED リングの値と一致するまで値が変更できません。

- **EXP/MIDI INPUT BEHAVIOR**

EXP/MIDI インプットの機能を、MIDI とエクスプレッション・ペダルの間で切り替えます。

- **ABOUT**

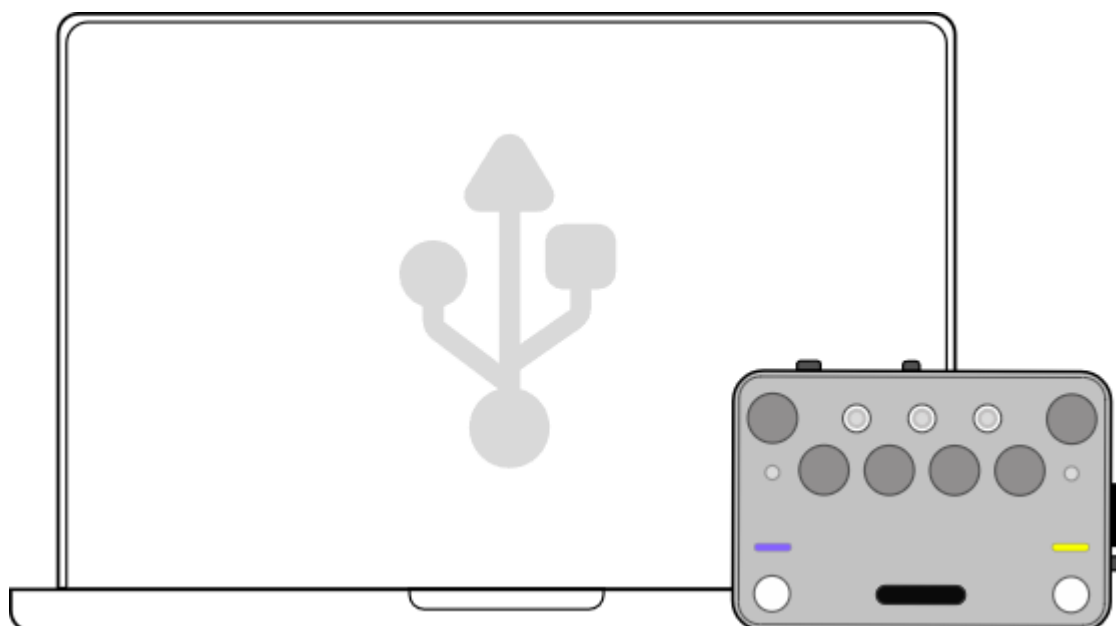
現在の NanOS バージョンとデバイスのシリアルナンバーを確認出ます。

Nano Cortex のシリアルナンバーはデバイスの裏面にも記載されています。

- **FACTORY RESET**

ファクトリー・リセットを行うと、すべてのユーザーコンテンツがデバイスから削除されます。

## 07 コンピューターとの接続



### USB オーディオ設定

Nano Cortex は USB 2.0、24-bit、48kHz（固定）の低レイテンシー・オーディオインターフェースとして、Windows® または Mac® のコンピューターで使用可能です。

Nano Cortex を付属の USB-C ケーブルを使ってコンピューターに接続します。

## Mac OS® のセットアップ

- 1 Nano Cortex をコンピューターに接続してください。
- 2 「システム設定」の「サウンド」で Nano Cortex をコンピューターのメインインプット / アウトプットデバイスに設定します。
- 3 コンピューターのオーディオコントロールからモニター音量を設定します。

## Windows® のセットアップ

- 1 ウェブサイトからドライバーのインストーラーをダウンロードします ([\[Downloads\]\(https://neuraldsp.com/downloads\)](https://neuraldsp.com/downloads))。
- 2 インストーラーを起動します。セットアップ完了後はコンピューターを再起動します。
- 3 Nano Cortex をコンピューターに接続してください。
- 4 「コントロールパネル」、「ハードウェアとサウンド」、「サウンド」画面で、Nano Cortex がデフォルトのプレイバック / レコーディングデバイスとして設定されていることをご確認ください。
- 5 コンピューターのオーディオコントロールからモニター音量を設定します。

Nano Cortex は以下のパスにインストールされます：

<C:\Program Files\NeuralDSP\Nano Cortex Driver>








### Windows® ASIO ドライバー

Windows® コンピュータで USB オーディオを使用するには、弊社ウェブサイトから Nano Cortex ASIO® ドライバをダウンロードし、インストールする必要があります。Mac® コンピュータではドライバのインストールは必要ありません。



# USB チャンネル

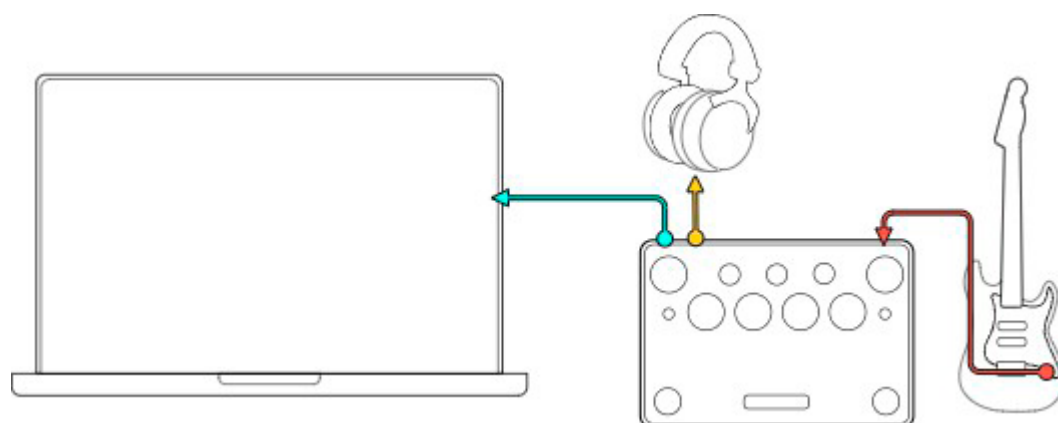
Nano Cortex は 7 つの USB チャンネル (3IN/4OUT) を使用します。

USB CHANNEL	DESCRIPTION	NANO CORTEX
INPUT 1	Dry Input (D.I.) signal from analog <b>INPUT</b> and <b>CAPTURE INPUT</b> to host.	 From <b>INPUT</b>
INPUT 2	Select <b>INPUTS 1/2</b> on your DAW to record D.I. signal.	 From <b>CAPTURE INPUT</b>
INPUT 3	Processed signal from analog <b>OUTPUT 1L</b> and <b>2R</b> to host.	 From <b>OUTPUT 1L</b>
INPUT 4	Select <b>INPUTS 3/4</b> on your DAW to record processed audio signal.	 From <b>OUTPUT 2R</b>
OUTPUT 1	Playback from the host through <b>OUTPUTS 1L</b> and <b>2R</b> .	 To <b>OUTPUT 1L</b>
OUTPUT 2	Select <b>OUTPUTS 1/2</b> on your host to hear playback through Nano Cortex's <b>OUTPUTS 1L</b> , <b>2R</b> , and <b>HP OUT</b> .	 To <b>OUTPUT 2R</b>
OUTPUT 3	Manual route from the host to Nano Cortex's <b>INPUT</b> . Select <b>OUTPUT 3</b> on your DAW to reamp audio tracks through Nano Cortex.	 To <b>INPUT</b>

# ホスト モニタリング

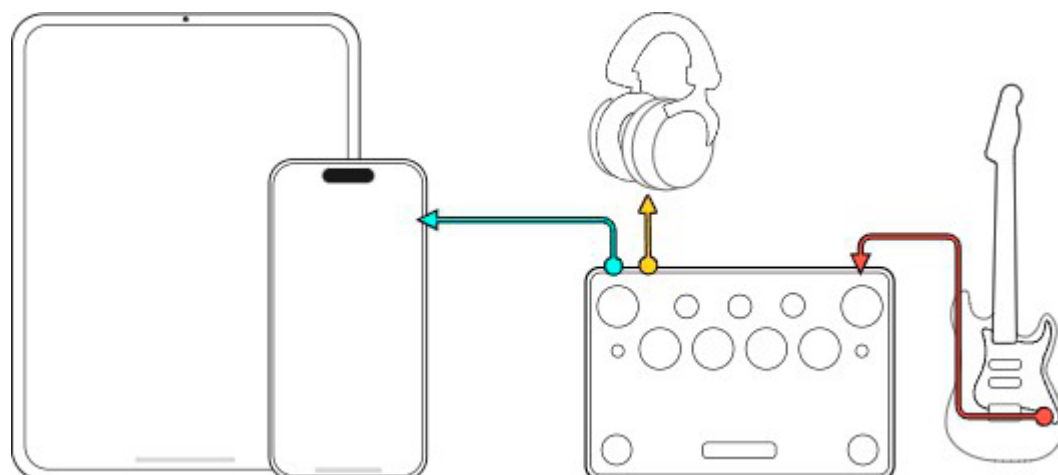
## D.I. やプロセスされた信号のレコーディング

Nano Cortex では、ドライな信号とプロセスされた信号を同時にレコーディングすることが可能です。楽器を **INPUT** に接続し、コンピューターが Nano Cortex をデフォルトのオーディオインターフェースとして選択していることをお確かめください。



- 1 DAW を開き、モノ・オーディオトラックを作成し、インプットを **Input 1** (ドライインプット信号) に設定します。
- 2 ステレオ・オーディオトラックを作成し、インプットを **Input 3/4** (アナログ OUTPUT 1L と 2R のプロセス信号) に設定します。
- 3 レコーディングのため、両方のトラックを有効にします。
- 4 レコーディングした D.I. トラックをリアンプする場合は、アウトプットを **Output 3** (Nano Cortex のインプットへ) に設定し、新しいステレオトラックを作成し (Input 3/4)、レコーディングを有効にします。

## Nano Cortex を iPhone® または iPad® に接続する



クラスコンプライアントな USB オーディオデバイスであれば、iPhone® または iPad® で使えます。

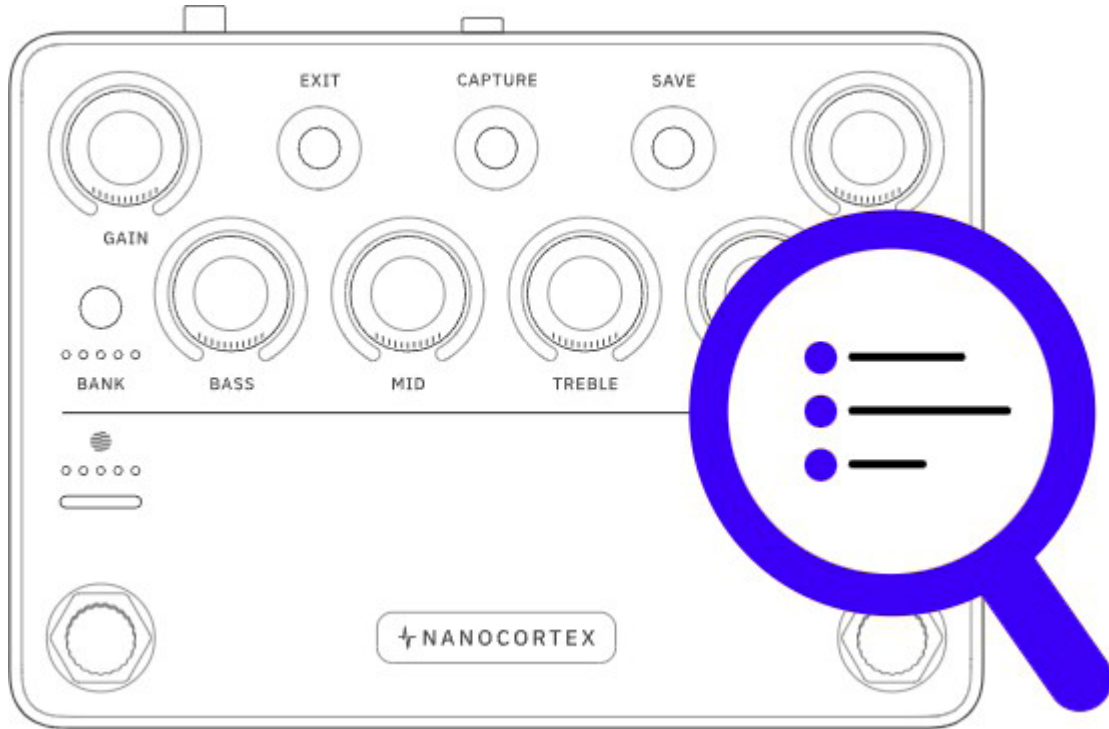
Nano Cortex は USB-C ケーブル（iPhone 15 以降）を使って上記のデバイスに接続できます。

iPhone 14 以下のデバイスに Nano Cortex を外部マイクデバイスとして認識させるには、**Apple® Lightning to USB-C Camera Adapter** が必要です。

この機能を使うと、Nano Cortex を GarageBand® などのアプリでレコーディングのために使用できます。



## 08 ハードウェアの仕様



# 既存のコンテンツ

## NEURAL CAPTURE

### BANK 1 (クリーン) :

- 1 CA John's Ch1 1 (Mesa Boogie® JP2C® Ch1)
- 2 Comet 60 5 (Komet® 60)
- 3 Bogna X100B Ch1 1 (Bogner® Ecstasy 100B® Ch1)
- 4 Watt Custom Clean 7 (Hermansson Hiwatt® Custom PA100® Clean)
- 5 US HRDLX ChA 6 (Fender® Hot Rod Deluxe® Channel A)

### BANK 2 (エッジ) :

- 1 Comet 60 6 (Komet® 60)
- 2 NoMatch Chief 1 (Matchless® Chieftain®)
- 3 US Prince 65 4 (Fender® Princeton® 65)
- 4 Watt Custom VH 1 (Hermansson Hiwatt® Custom PA100® VH)
- 5 D-Cell H4 Ch2 1 (Diezel® VH4® Ch2)

### BANK 3 (クランチ) :

- 1 Bogna Fish+290 5 (Bogner® Fish®) + (Mesa® Boogie® Stereo Simul-Class™ 2:Ninety™)
- 2 Brit 2555 Rhy 12 (Marshall® Silver Jubilee® 2555 Rhythm)
- 3 Custom 3SE+290 2 (Custom Audio Amplifier® 3+SE®) + (Mesa® Boogie® Stereo Simul-Class™ 2:Ninety™)
- 4 D-Cell H4 Ch3 3 (Diezel® VH4® Ch3)
- 5 ENG Energy 3 (ENGL® Powerball® Mark I)

**BANK 4 (ハイゲイン) :**

- 1 Bogna X100B Ch3 Lead 18 (Bogner® Ecstasy 100B® Preamp Ch3 Lead)
- 2 CA Studio+290 2 (Mesa® Boogie® Studio Preamp®) + (Mesa® Boogie® Stereo Simul-Class™2:Ninety™)
- 3 CA John's Ch3 7 (Mesa Boogie® JP2C® Ch3)
- 4 PV 505Sig 7 (Peavey® 5150® Signature)
- 5 Brit 2555 Lead 1 (Marshall® Silver Jubilee® 2555 Lead)

**BANK 5 (ベース) :**

- 1 Aggi 751 31 (Aguilar® DB751®)
- 2 Amped SV Classic 3 (Ampeg® SVT Classic®)
- 3 Rodent+SV 3 (ProCo® Rat®) + (Ampeg® SVT Classic®)
- 4 CA MixBass 3 Amp2 (Mesa® Boogie® M6 Carbine®) + (Big Block 750®)
- 5 Anima Fuzz 8 (Human Gear® Animato®)

...

## インパルス・レスポンス

- 1 110 US PRN C10R (Fender® Princeton® with Jensen® C10R drivers)
- 2 112 UK C15 Blue (Vox® AC15® with Celestion® Alnico Blue drivers)
- 3 115 Amped Modern (Ampeg® SVT® 115HE®)
- 4 212 Match D30 Sig A (Matchless Amplifiers® DC30® Sig A)
- 5 212 US TWN C12Q 00s (Fender® Twin Reverb® with Jensen® C12K-2 drivers)
- 6 412 Brit TV GB75Hz '69 (Marshall® 1960TV® with Celestion® G12M25 drivers)
- 7 412 CA Stand OS A V30 '01 (Mesa® Standard OS Angled with Celestion® Vintage 30 drivers)
- 8 412 CA Trad S UKV30 90s (Mesa® Traditional Straight with Celestion® Vintage 30 drivers)
- 9 412 Zila Cust V30 '12 V2 (Zilla® Custom with Celestion® Vintage 30 drivers)
- 10 10.810 Amped VT Aln 70s (Ampeg® SVT® 810® with custom Eminence® ceramicdrivers)

...

## エフェクト

- 1 Adaptive Gate (Pre FX)
- 2 Transpose (Pre FX)
- 3 Chief DC2W (Post FX)
- 4 Analog Delay (Post FX)
- 5 Mind Hall Reverb (Post FX)

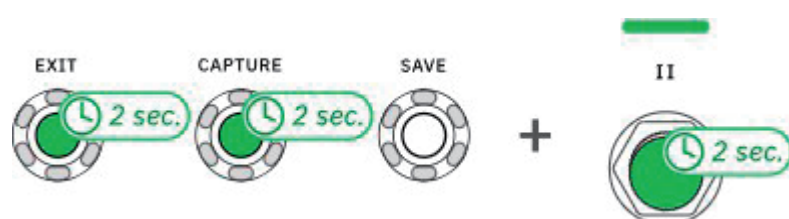
# ファクトリーリセット

## 注意

ファクトリーリセットを行うと、デバイスに保存されている Neural Capture、プリセット、およびインパルス・レスポンスなどのすべてのユーザーデータが削除されます。



この操作は取り消しできません



EXIT ボタン、CAPTURE ボタン、Footswitch II を 2 秒間長押しします。



LED が点灯します。GAIN、Footswitch I と II が青色に点灯します。



LED が点灯中に Nano Cortex が再起動するまで SAVE を長押しします。

すべてのユーザーデータが削除されます。

# I/O と基本情報

## 楽器インプット

- ・ コネクタ：1/4 TRS-F
  - ・ インピーダンス：1M  $\Omega$
  - ・ 最大インプットレベル：+10dBu
- 

## コンボキャプチャーインプット

- ・ コネクタ：XLR-F + 1/4 TRS-F
  - ・ TS インピーダンス：1M  $\Omega$
  - ・ XLR インピーダンス：45k  $\Omega$
  - ・ 最大インプットレベル：+10dBu
  - ・ ブーストゲイン：+26dB
- 

## TRS アウトプット 1L/2R

- ・ コネクタ：(2) 1/4 TRS-F
  - ・ インピーダンス：560  $\Omega$
  - ・ 最大アウトプットレベル：+10dBu (アンバランス) / +16dBu (バランス)
- 

## ヘッドフォンアウトプット

- ・ コネクタ：3.5MM TRS-F
  - ・ 最大アウトプットパワー：55mW into 20  $\Omega$
-

## EXP/MIDI インプット

- ・ エクスプレッションコネクター：1/4 TRS-F
  - ・ MIDI コネクター：MIDI TRS Type A
- 

## USB オーディオ

- ・ フォーマット：USB Audio Class 2.0 対応
  - ・ チャンネル：7 (4IN/3OUT)
  - ・ オーディオクロック：48 kHz (固定)
- 

## 全般

- ・ 素材：アノダイズド・アルミニウム・ボディー
  - ・ コントロール：  
2つのステンレス製フットペダル+回転式フットスイッチ7つのノブ  
2つのアナログスイッチ  
5つのデジタルスイッチ
  - ・ 大きさ：14.4 x 10.3 x 6.2 cm / 5.6 x 4.0 x 2.4"
  - ・ 重さ：620g / 1.36lbs
  - ・ 電源：  
9-12V DC 600mA (センターマイナス)  
USB-C 5V、1.5A 以上
- 

## 環境情報

- ・ 起動温度：0 から 50 °C (32 から 122 °F)
- ・ 保管温度：-10 から 70 °C (14 から 158 °F)
- ・ 湿度：結露しない程度

